

防災出前講座

～「御殿場市富士山火山避難計画」～



R 8 . 1 0 . 2
御 殿 場 市 危 機 管 理 課

講座の目的

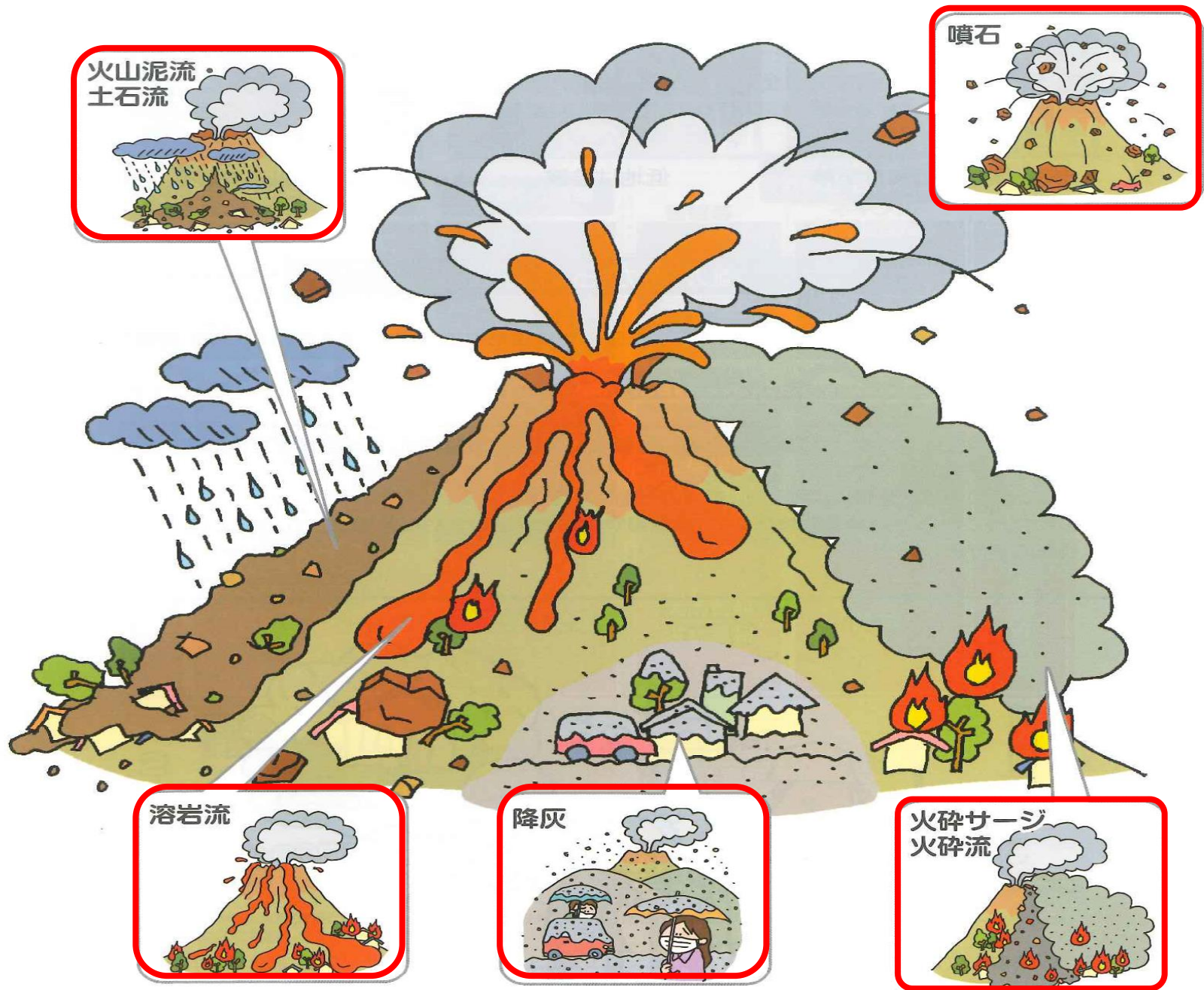
特別養護老人ホームすずらんの皆様に、富士山火山噴火発生時への備え、御殿場市富士山火山避難計画の概要について説明して必要な知識を身に着け、自助力を高めていただく。

説明項目

- 1 富士山で起こりうる噴火現象
- 2 御殿場市の富士山火山避難計画の概要
- 3 すずらんの避難（案）について
- 4 日頃の備え
- 5 質疑応答

1 富士山で起こりうる噴火現象

富士山で起こりうる噴火現象



富士山で起こりうる噴火現象



① 火砕流



- ・ 噴火により放出された高熱の岩石や破片が、地表に沿って流れる現象
- ・ 火山灰と空気の混ざった高熱の爆風は火砕サージ
- ・ 火砕流や火砕サージの速度は時速百km以上、温度は数百℃
- ・ 速度も早いので、**事前の避難が必要**
- ・ 御殿場市の居住地区までの**影響なし**

画像：雲仙普賢岳の火砕流の様子

写真：GIFMAGAZINE気象庁ホームページ

富士山で起こりうる噴火現象



② 大きな噴石



- ・ 概ね20～30cm以上を大きな噴石と定義。
- ・ 特に大きな物は1m超
- ・ 小さい物でも家の屋根や壁を突き破る事がある
- ・ 登山中などに危険が増した場合は、丈夫な建物内に避難
- ・ やむをえず外出する場合にはヘルメットを着用
- ・ 御殿場市の居住地区までの
影響なし

「2000年有珠山噴火による噴石被害（岡田弘氏提供）
2000年4月16日撮影」

富士山で起こりうる噴火現象



③ 溶岩流



- ・ 溶岩が斜面を流れ下る現象
- ・ 噴出したばかりの溶岩の温度：900～1200℃
- ・ 木々を燃やし、水と触れ水蒸気爆発を起こす
- ・ 流下速度は、一般的に人が歩く速さ程度
- ・ 御殿場市の居住地区までの影響あり
- ・ 人の避難は比較的容易

画像：ハワイ島・キラウエア火山の溶岩流の様子

引用：HUFFPOSTホームページ

富士山で起こりうる噴火現象



④ 融雪型火山泥流



ネバドデルルイス火山の融雪型火山泥流（1985年）
米国地質調査所のHPより

- ・ 雪の積もっている時期に、溶岩や火砕流の熱で雪が溶けて起きる泥流
- ・ 積もった雪が一気に溶ける
 - ⇒ 土石流よりも速く
大量の泥流が谷筋や沢沿いを遠方まで流下
- ・ 御殿場市の居住地区までの影響あり。
- ・ 積雪期の噴火時等には、影響範囲は事前の避難が必要

富士山で起こりうる噴火現象



⑤ 小さな噴石、降灰及び熱い降灰



写真：桜島の降灰（2009年9月）

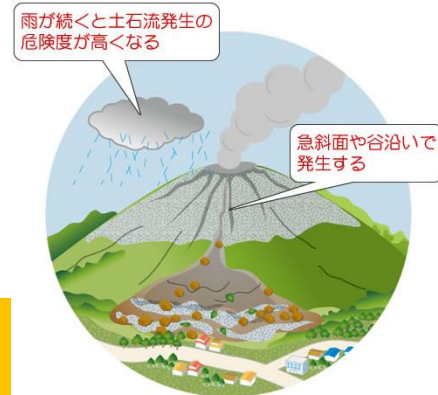
- ・ 噴火により噴出した固形物のうち、
直径2mm以上：『小さな噴石』
直径2mm以下：『火山灰』
- ・ 小さな噴石は、火口から10km以上、
火山灰は、数十kmから数百km以上風に流されて運ばれることも
- ・ 火山の風下側では爆発的噴火に気付いたら屋内等に退避すること
- ・ 御殿場市の居住地区までの影響あり
- ・ 場合によっては、立ち退き避難が必要



写真：桜島昭和火口の爆発による小さな噴石

出典：気象庁ホームページ

富士山で起こりうる噴火現象



⑥ 土石流

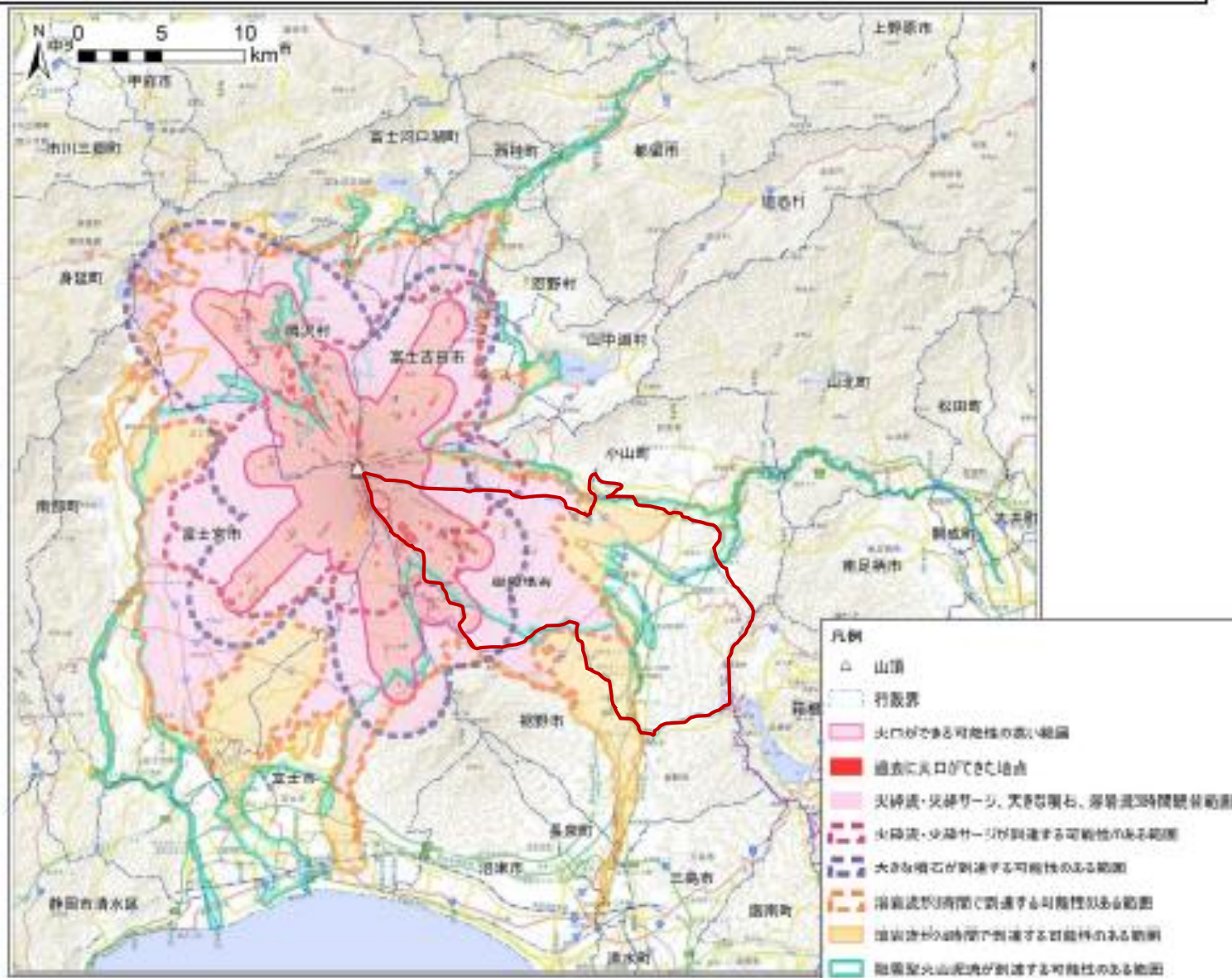


- ・火山の噴火後、火山灰の降り積もった地域に雨が降ると土石流が発生しやすくなります。
- ・こうした土石流や泥流は、高速で斜面を流れ下り、下流に大きな被害をもたらします。
- ・噴火後に雨が予想されている時は、川の近くや谷の出口に近づかないようにしましょう。
- ・影響範囲は立退き避難が必要

2 御殿場市の富士山火山避難計画 の概要

富士山噴火時の影響範囲（富士山ハザード統合マップ）

ここに着色されているすべての範囲が、同時に危険になるわけではありません。
〔仮に富士山が噴火した場合に、溶岩流・大きな噴石・火砕流などの影響がおよぶ可能性の高い範囲を、すべて重ねて描いたものです。〕



御殿場市富士山火山防災マップ(可能性マップ) 避難対象エリアの表示

This map illustrates the evacuation zones for Mt. Fuji, categorized by the time it takes for lava flows to reach specific areas. The zones are color-coded and numbered 1 through 7, with a final zone for areas where lava flow is not expected. The map also shows the predicted arrival times of lava flows from various craters, including the main crater (大噴石) and the spatter flow (火砕流). Key locations such as the city of Gakko (御殿場市), the Fuji Five Lakes (富士五湖), and the surrounding towns are marked. The map includes a legend for the evacuation zones and a table of arrival time predictions.

到達予測時間

到達予測時間	範囲
1	溶岩流が2時間で到達する可能性がある範囲
2	溶岩流が3時間で到達する可能性がある範囲
3	溶岩流が6時間で到達する可能性がある範囲
4	溶岩流が12時間で到達する可能性がある範囲
5	溶岩流が24時間で到達する可能性がある範囲
6	溶岩流が2～7日間で到達する可能性がある範囲
7	溶岩流が最終的に到達する可能性がある範囲
	溶岩流が最終的に到達する危険性がない範囲

第1次避難対象エリア (想定火口範囲)

第2次避難対象エリア (火砕流、大きな噴石)

第3次避難対象エリア (溶岩流が3時間以内)

第4次避難対象エリア (溶岩流が24時間以内)

第5次避難対象エリア (溶岩流が7日以内)

第6次避難対象エリア (溶岩流が最終的(57日以内))

火砕流

大噴石

噴石

御殿場市

富士御殿場

富士山

分水嶺

土石流

到達予測時間

1 溶岩流が2時間で到達する可能性がある範囲

2 溶岩流が3時間で到達する可能性がある範囲

3 溶岩流が6時間で到達する可能性がある範囲

4 溶岩流が12時間で到達する可能性がある範囲

5 溶岩流が24時間で到達する可能性がある範囲

6 溶岩流が2～7日間で到達する可能性がある範囲

7 溶岩流が最終的に到達する可能性がある範囲

溶岩流が最終的に到達する危険性がない範囲

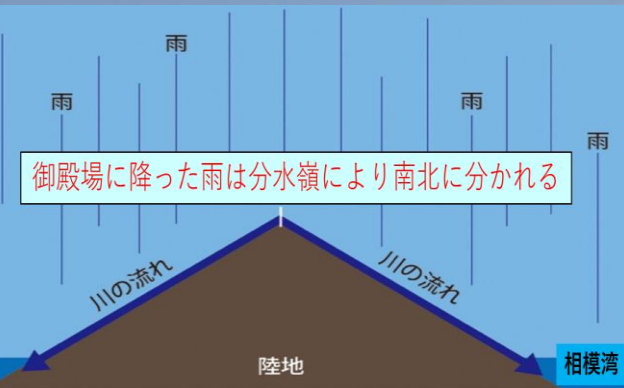
第6次避難対象エリア
(溶岩流が最終的(57日以内))

到達予測時間

- ① 溶岩流が2時間で到達する可能性がある範囲
- ② 溶岩流が3時間で到達する可能性がある範囲
- ③ 溶岩流が6時間で到達する可能性がある範囲
- ④ 溶岩流が12時間で到達する可能性がある範囲
- ⑤ 溶岩流が24時間で到達する可能性がある範囲
- ⑥ 溶岩流が2～7日間で到達する可能性がある範囲
- ⑦ 溶岩流が最終的に到達する可能性がある範囲
- ⑧ 溶岩流が最終的に到達する危険性がない範囲

分水嶺

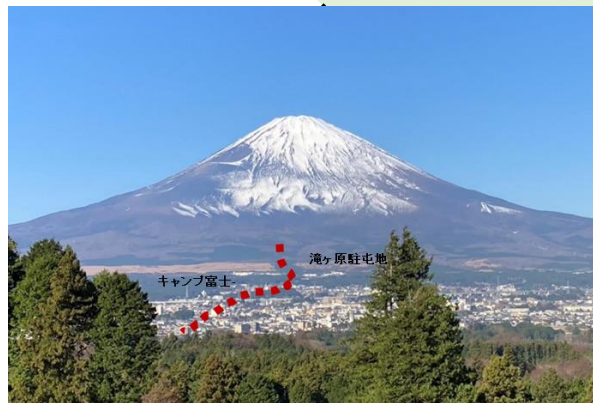
分水嶺（雨水が異なる方向へ分かれる境界・尾根）による影響





主要地区標高・河川の流れ

相模湾



降水は『南北に2分』される！
∴ 一ヶ所に集中しない◎

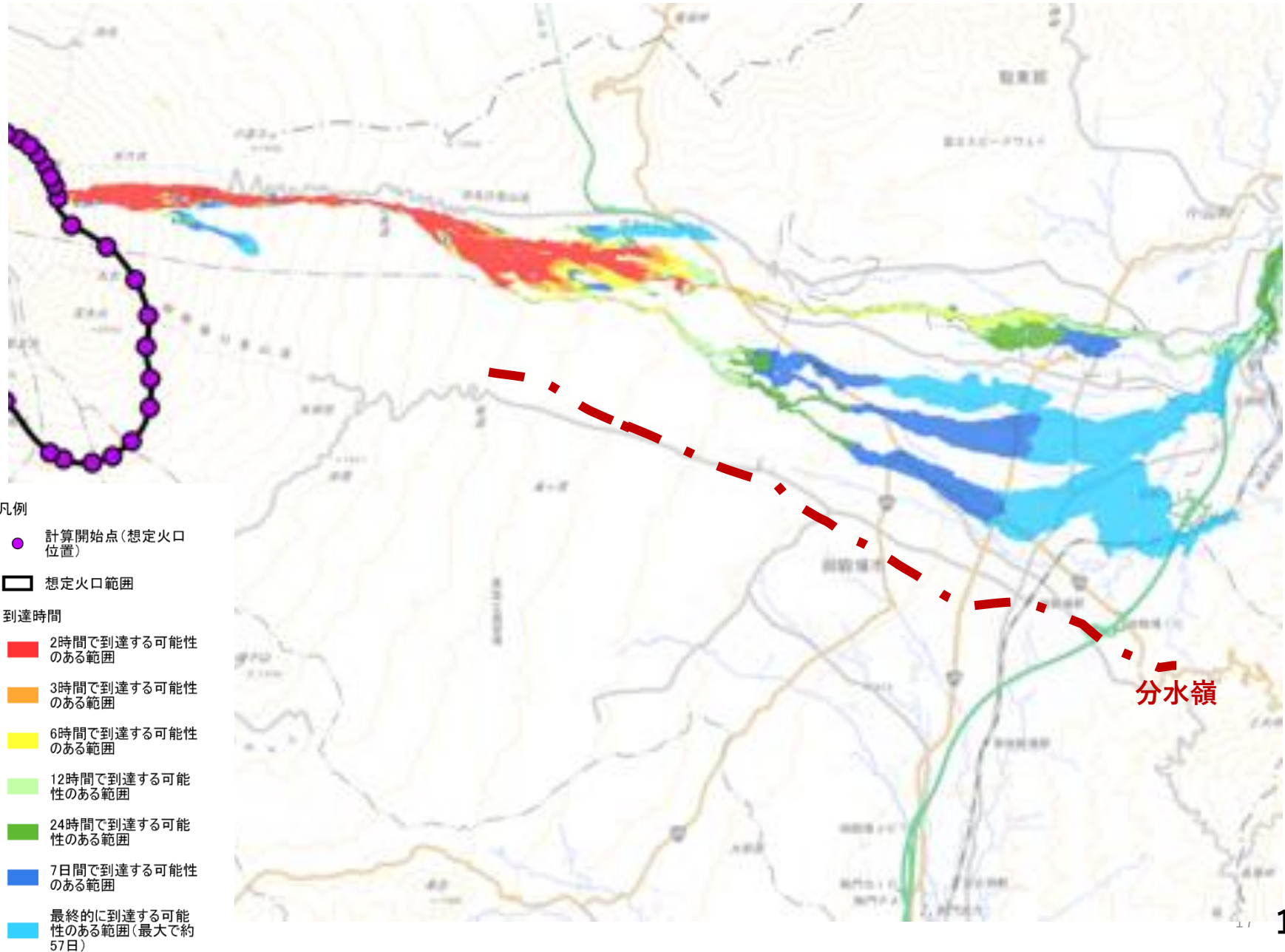


分水嶺

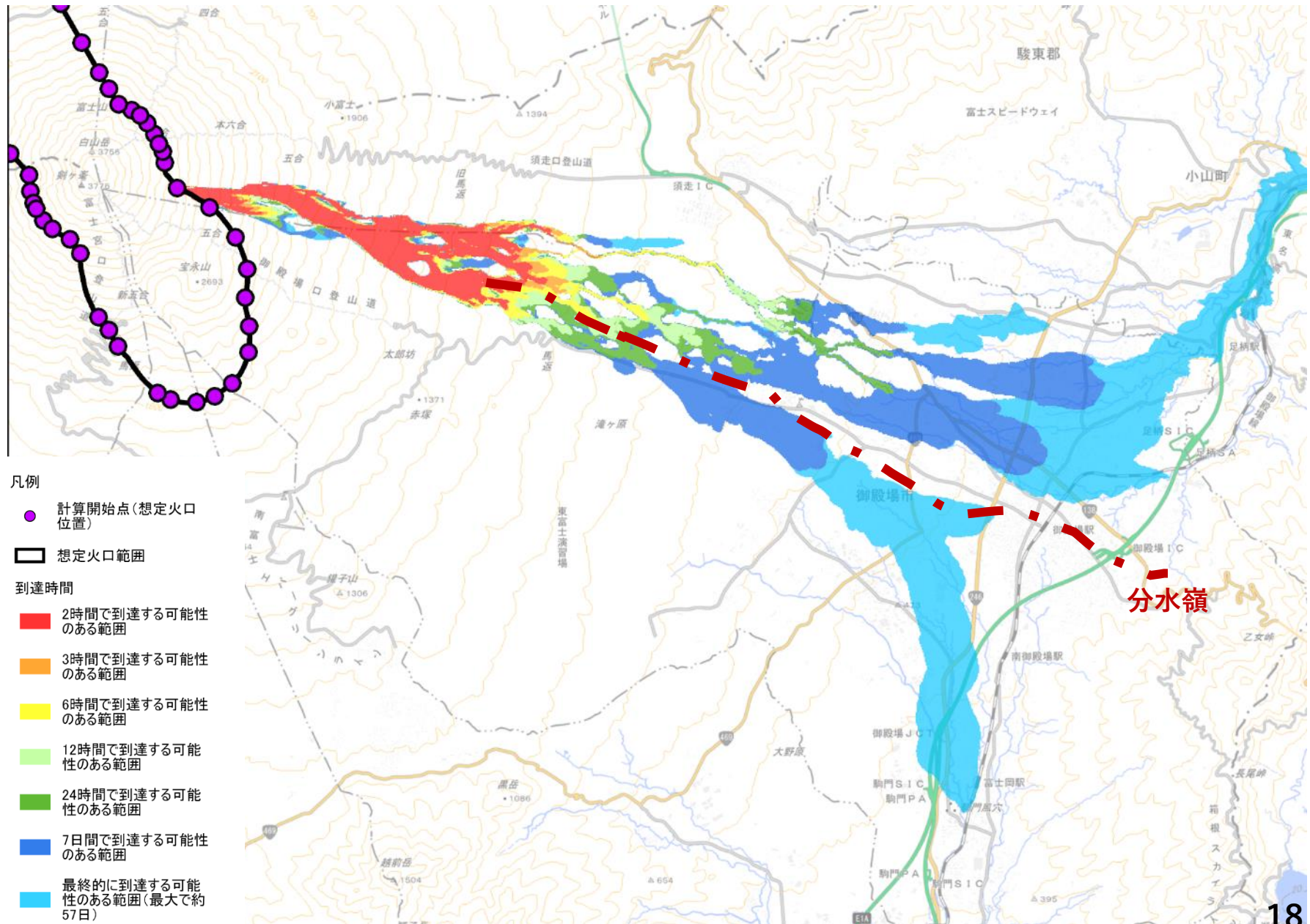
駿河湾

▲御殿場市内標高差：約400m
⇒ 降雪量に影響（豪雪災害）

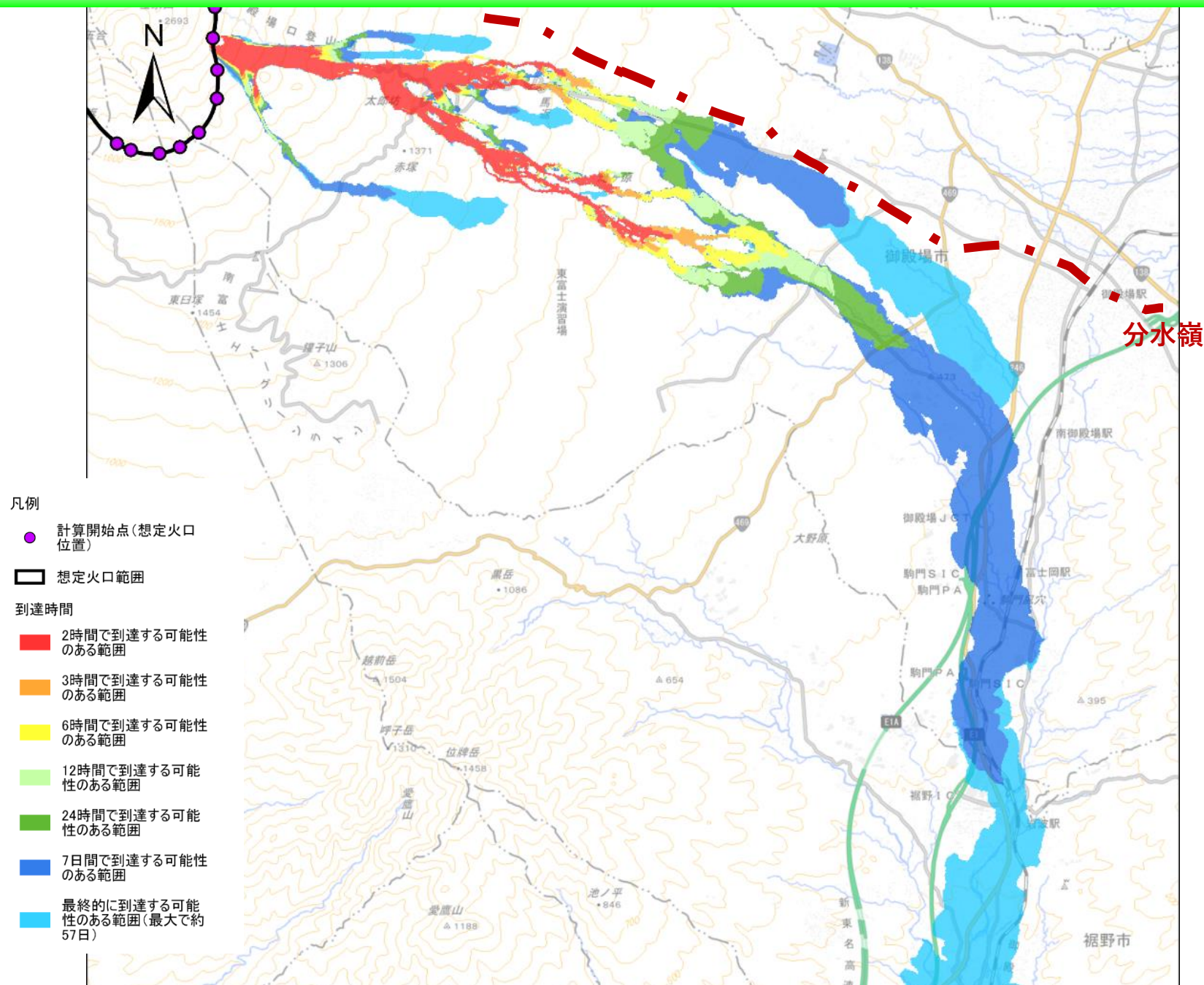
溶岩流ドリルマップ（大規模噴火L30）＝分水嶺より北（Aパターン）



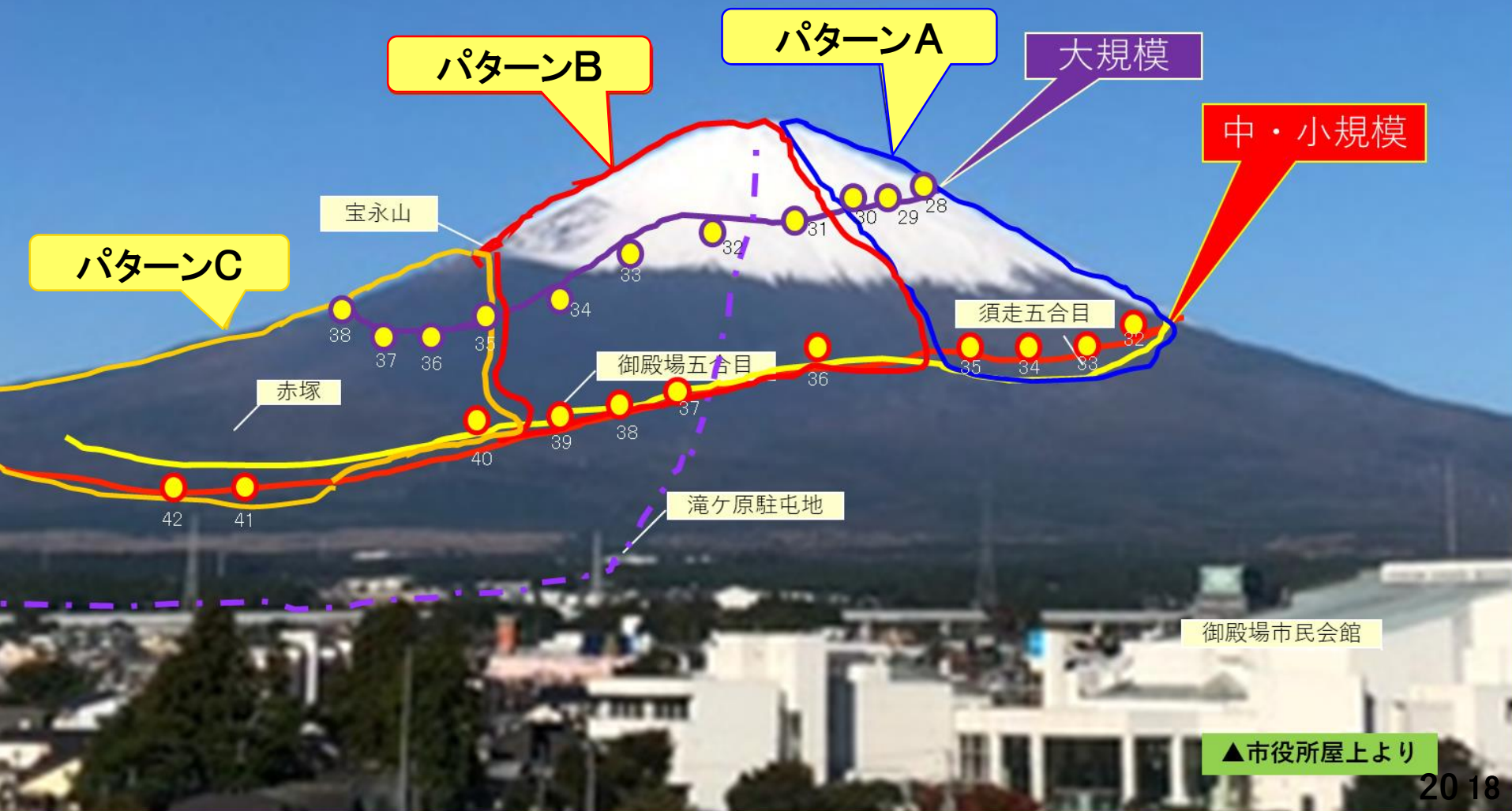
溶岩流ドリルマップ（大規模噴火L31）＝分水嶺で2分割（Bパターン）



溶岩流ドリルマップ（大規模噴火L35）＝分水嶺より南（Cパターン）

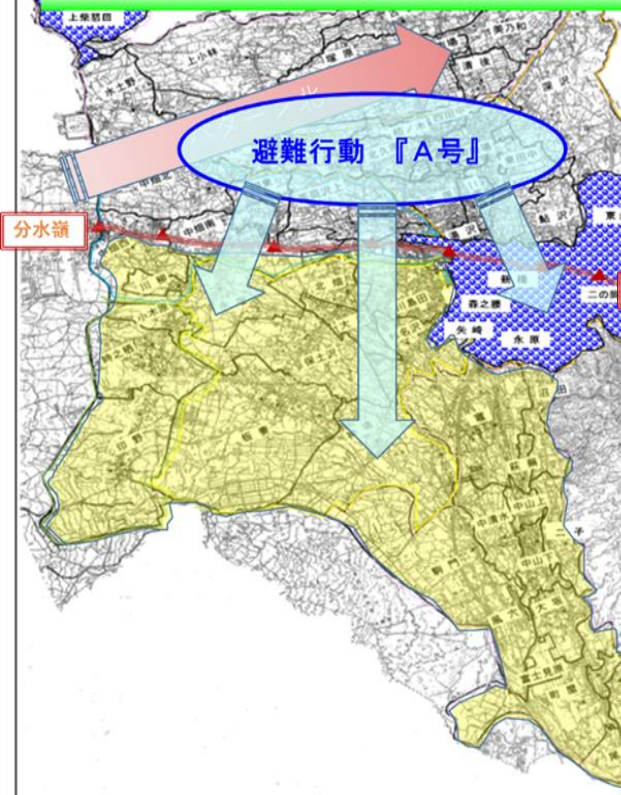


溶岩流の流下パターンを区分した想定火口範囲

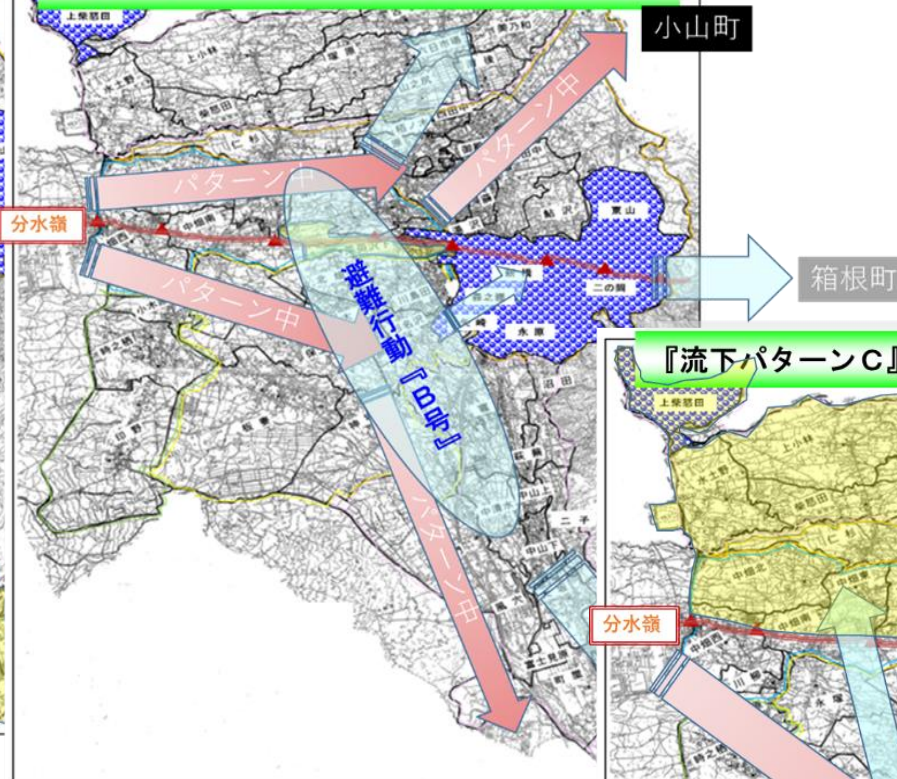


溶岩流の流下パターンによる避難の考え方

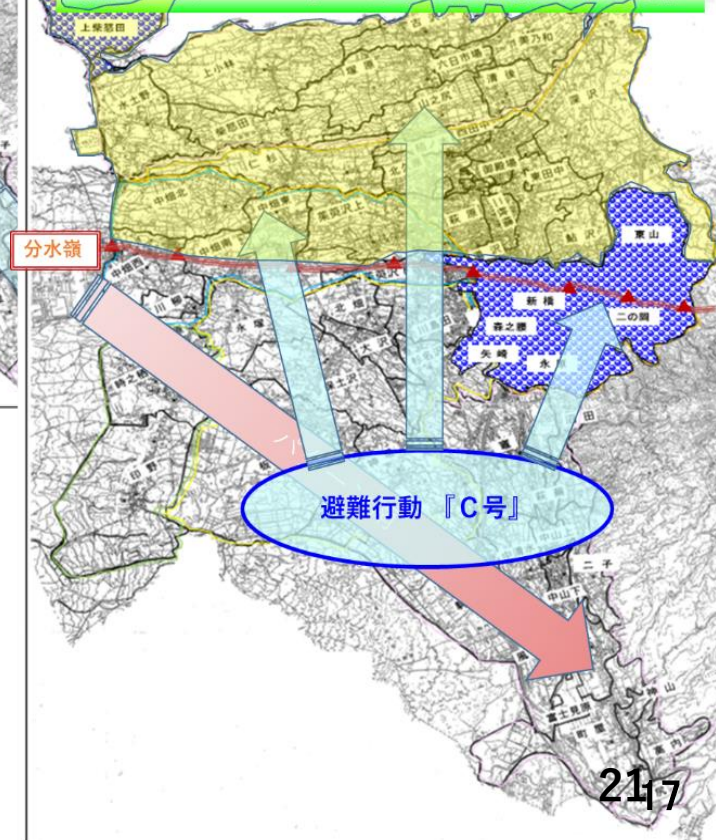
『流下パターンA』に対する避難行動『A号』



『流下パターンB』に対する避難行動『B号』



『流下パターンC』に対する避難行動『C号』



御殿場市人口(R5.5.1)

高根
4,534

御殿場
35,287

玉穂
8,625

7区
17,664

印野
1,919

原里
15,972

富士岡
16,075

溶岩流流下パターン別避難対象区

避難対象 エリア	溶岩流 到達時間	パターンA	パターンB	パターンC
3 次	2 時間			時之栖、印野、板妻
	3 時間			保土沢、神場
4 次	6 時間		中畑西	小木原、駒門、中清水 風穴、大坂、町屋、尾尻
	1 2 時間	柴怒田、仁杉 中畑北		杉名沢
	2 4 時間	上小林、水土野 山之尻、中畑東	川柳、中畑南、小木原 時之栖、永塚	竈、富士見原
5 次	7 日	古沢、塚原、六日市場 清後、美乃和 西田中、栢ノ木 北久原、御殿場、萩原 二枚橋、東田中 深沢、茱萸沢上 中畑西、中畑南	水土野、柴怒田 上小林、塚原、山之尻 六日市場、清後、仁杉、西田中 北久原、御殿場、萩原、中畑北 中畑東、茱萸沢上、保土沢 北畑、大沢、杉名沢、板妻 神場、竈、萩蕪、中山上 中山下、沼田、二子、駒門 中清水	中畑西、川柳、中畑南 中山下、神山、高内
6 次	最終		古沢、美乃和、栢ノ木、湯沢 二枚橋、東田中、鮎沢、深沢 茱萸沢下、川島田、神山、高内 風穴、大坂、富士見原、町屋 尾尻	永塚、北畑、大沢 中山上、二子
到達の危険なし		東山、二の岡、新橋、永原、森之腰、矢崎		

— : 噴火直後パターン避難

— : リアルタイムハザードマップ（ドリルマップ避難）による避難

規模別・流下パターン別区分表（市全域）

	パターンA (分水嶺の北)	パターンB (分水嶺の北南)	パターンC (分水嶺の南)	規模別本数計
大規模 (L)	3 (28,29,30)	4 (31,32,33,34)	4 (35,36,37,38)	1 1
中規模 (M)	3 (32,33,35)	5 (34,36,37,38,39)	7 (40,41,42,43,44 45,46)	1 5
小規模 (S)	2 (35,36)	2 (38,39)	8 (40,41,42,43 44,45,46,47)	1 2
パターン別本数 計	8	1 1	1 9	3 8 / 2 5 2

規模別区分表（御殿場地区）

一連	地区	区	溶岩流 計	L		M		S	
				数	番 号	数	番 号	数	番 号
1	御殿場	御殿場	6	5	②⑨③①③②③③	1	③⑤		
2		深 沢	5	4	③①③②③③	1	③⑤		
3		東 山	0						
4		東田中	5	4	③①③②③③	1	③⑤		
5		二の岡	0						
6		鮎 沢	2	2	③①③②				
7		新 橋	0						
8		湯 沢	0						
9		萩 原	7	4	③①③②③③	3	③⑤③⑥③⑦		
10		二枚橋	5	4	③①③②③③	1	③⑤		
11		西田中	6	4	②⑨③①③③	2	③⑤③⑥		
12		北久原	7	5	②⑨③①③②③③	2	③⑤③⑥		
13		仁 杉	10	6	②⑨③①③②③③③④	4	③④③⑤③⑥③⑦		
14		栢ノ木	5	3	②⑨③①③③	2	③⑤③⑥		
15		永 原	0						

規模別区分表（富士岡地区）

一連	地区	区	溶岩流 計	L		M		S	
				数	番 号	数	番 号	数	番 号
16	富士岡	竈	14	7	③①③②③③③④③⑤③⑥③⑦	6	③⑦③⑧③⑨④④①④②	1	④③
17		萩 蕪	4	3	③②③③③④	1	③⑧		
18		沼 田	2	1	③④	1	③⑧		
19		二 子	3	1	③④	2	③⑧④②		
20		中山上	5	3	③②③③③④	2	③⑧④②		
21		中山下	16	8	③①③②③③③④③⑤③⑥③⑦③⑧	8	③⑧③⑨④④①④②④③④④⑤④⑥		
22		風 穴	18	8	③①③②③③③④③⑤③⑥③⑦③⑧	9	③⑧③⑨④④①④②④③④④⑤④⑥	1	④④
23		中清水	19	8	③①③②③③③④③⑤③⑥③⑦③⑧	9	③⑧③⑨④④①④②④③④④⑤④⑥	2	④④④⑤
24		駒 門	19	8	③①③②③③③④③⑤③⑥③⑦③⑧	9	③⑧③⑨④④①④②④③④④⑤④⑥	2	④④④⑤
25		大 坂	17	7	③②③③③④③⑤③⑥③⑦③⑧	9	③⑧③⑨④④①④②④③④④⑤④⑥	1	④④
26		町 屋	16	7	③②③③③④③⑤③⑥③⑦③⑧	8	③⑧④④①④②④③④④⑤④⑥	1	④④
27		高 内	5	4	③②③③③④③⑤	1	④②		
28		尾 尻	15	7	③②③③③④③⑤③⑥③⑦③⑧	7	④④①④②④③④④⑤④⑥	1	④④
29		神 山	4	3	③③③④③⑤	1	④②		
30		富士見原	16	7	③②③③③④③⑤③⑥③⑦③⑧	8	③⑧③⑨④④①④②④④⑤④⑥	1	④④

規模別区分表（原里地区）

一連	地 区	区	溶岩流 計	L		M		S	
				数	番 号	数	番 号	数	番 号
31	原 里	川島田	1	1	③①				
32		森之腰	0						
33		杉名沢	15	7	③①③②③③③④③⑤③⑥③⑦	6	③⑦③⑧③⑨④④①④②	2	④②④③
34		神 場	23	8	③①③②③③③④③⑤③⑥③⑦③⑧	10	③⑦③⑧③⑨④④①④②④③④④④⑤④⑥	5	④①④②④③④④④⑤
35		板 妻	23	7	③②③③③④③⑤③⑥③⑦③⑧	10	③⑦③⑧③⑨④④①④②④③④④④⑤④⑥	6	④④④①④②④③④④④⑤
36		保土沢	17	7	③①③②③③③④③⑤③⑥③⑦	6	③⑦③⑧③⑨④④①④②	4	④④④①④②④③
37		永 塚	10	5	③①③②③③③④③⑤	4	③⑥③⑦③⑧③⑨	1	③⑨
38		北 畑	8	5	③①③②③③③④③⑤	3	③⑦③⑧③⑨		
39		大 沢	8	5	③①③②③③③④③⑤	3	③⑦③⑧③⑨		
40		矢 崎	0						

規模別区分表（玉穂地区）

一連	地区	区	溶岩流 計	L		M		S	
				数	番 号	数	番 号	数	番 号
41	玉 穂	茱萸沢下	1	1	③①				
42		茱萸沢上	8	5	③①③②③③③④	3	③⑤③⑥③⑦		
43		中畑東	10	6	②⑨③①③②③③③④	4	③④③⑤③⑥③⑦		
44		中畑北	10	6	②⑨③①③②③③③④	4	③④③⑤③⑥③⑦	0	
45		中畑南	10	5	③①③②③③③④③⑤	5	③⑤③⑥③⑦③⑧③⑨		
46		中畑西	13	5	③①③②③③③④③⑤	5	③⑤③⑥③⑦③⑧③⑨	3	③⑧③⑨④⑩
47		川 柳	10	5	③①③②③③③④③⑤	4	③⑥③⑦③⑧③⑨	1	③⑨

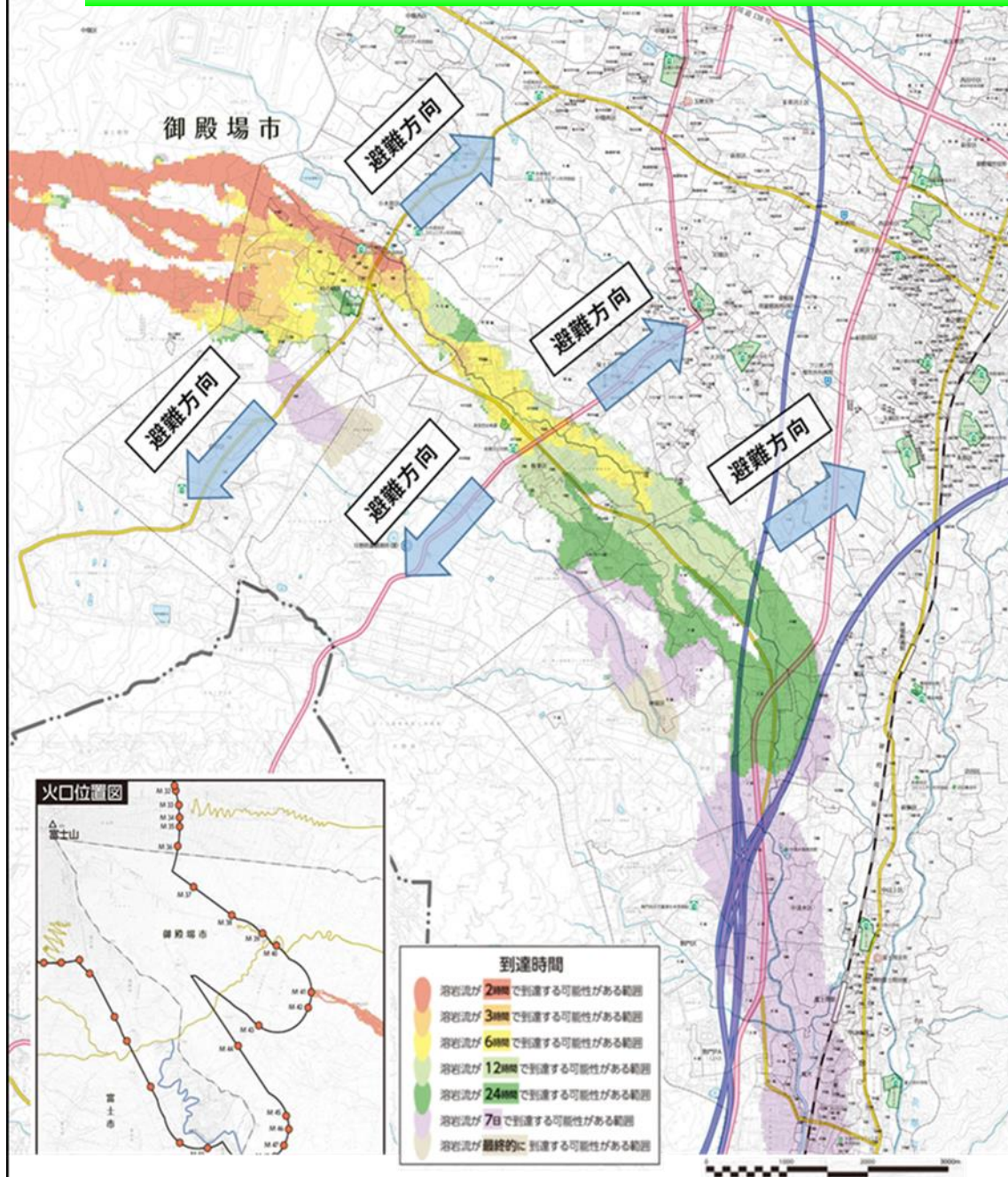
規模別区分表（印野地区）

一連	地区	区	溶岩流 計	L		M		S	
				数	番 号	数	番 号	数	番 号
48	印 野	小木原	16	5	③①③②③③③④③⑤	7	③⑥③⑦③⑧③⑨④③④①④②	4	④③④④①④②④③
49		時之栖	16	6	③②③③③④③⑤③⑥③⑦	6	③⑦③⑧③⑨④③④①④②	4	④③④④①④②④③
50		印 野	15	3	③⑥③⑦③⑧	7	④③④④①④②④③④④④⑤④⑥	5	④③④④④④⑤④⑥④⑦

規模別区分表（高根地区）

一連	地 区	区	溶岩流 計	L		M		S	
				数	番 号	数	番 号	数	番 号
51	高 根	塚 原	5	3	②⑨③①	2	③⑤③⑥		
52		六日市場	4	3	②⑨③①	1	③⑤		
53		美乃和	5	4	③①③②③③	1	③⑤		
54		清 後	6	5	②⑨③①③②③③	1	③⑤		
55		山之尻	5	3	②⑨③①	2	③⑤③⑥		
56		柴怒田	6	4	②⑨③①③②	2	③⑤③⑥		
57		上小林	8	4	②⑧②⑨③①	4	③③③④③⑤③⑥		
58		水土野	7	4	②⑨③①③②	3	③④③⑤③⑥		
59		古 沢	5	3	②⑧②⑨③①	2	③③③④		

溶岩流の流下方向に対して直交方向への避難イメージ



溶岩流からの車両避難は車両集中や降灰が生じ走行不能による
渋滞が発生する可能性が大



避難行動要支援者の逃げ遅れや救援車両の進出の遅れが発生 → **命の危険**

市街地のように傾斜が緩やかになると流下速度が低下する。溶岩流速度は徒歩より遅くなる。

流下方向に対して直交方向に避難することで安全確保が可能でありかつ避難距離も短くなる。

このため**徒歩での移動は数百mから数km程度**となる。



徒歩でも避難可能 30

避難対象者の区分と避難手段

○避難対象者の区分

区 分	避難対象者
一般住民	御殿場市内に居住する住民(避難行動要支援者を除く。)
避難行動 要支援者	自分や家族の支援だけでは避難できない高齢者や障害者で、 避難行動要支援者名簿に記載された者
観光客等	御殿場市に訪れた観光客・登山者・通勤・通学者等

○避難手段

区 分	自家用車の有無	避難手段
一般住民	あり	原則徒歩
	なし	
避難行動 要支援者	あり	自家用車
	なし	市、県が手配したバス等の車両
観光客等	あり	自家用車
	なし	公共交通機関等入域した手段

御殿場地区溶岩流最速到達・最大影響範囲ドリルマップ

	ドリル マップ数	最速 到達	最大 範囲	一時集結地
①御殿場	6	M 3 5	L 3 1	御殿場高
②深 沢	6	M 3 5	L 3 1	Y M C A 東山荘
③東田中	5	M 3 5	L 3 1	富士見公園
④鮎 沢	2	L 3 1	L 3 1	鮎沢公民館
⑤萩 原	7	M 3 5	L 3 1	中央公園
⑥二枚橋	5	M 3 5	L 3 1	御殿場小
⑦西田中	6	M 3 5	L 3 1	御殿場高 東小、御殿場小
⑧北久原	8	M 3 5	L 3 1	御殿場中
⑨仁 杉	1 0	M 3 5	M 3 5	市体育館
⑩栢ノ木	2	M 3 5	L 3 1	御殿場高

※ 令和5年度「富士山火山避難計画に関する自主防災会に対する説明会」(5.9.26)に作成した防災マップとオーバーレイ 参照

凡例：

第3次
避難対象エリア

第4次
避難対象エリア

第5次
避難対象エリア

第6次
避難対象エリア

富士岡地区溶岩流最速到達・最大影響範囲ドリルマップ

	ドリル マップ数	最速 到達	最大 範囲	一時集結地
① 竈	1 4	M 4 1	L 3 4	竈幼稚園 富士岡小
② 萩 蕪	4	M 3 8	L 3 4	富士岡小
③ 沼 田	2	L 3 4	L 3 4	富士岡小
④ 二 子	3	L 3 4	L 3 4	富士岡中
⑤ 中山上	5	L 3 4	L 3 4	富士岡小
⑥ 中山下	1 6	M 4 2	L 3 4	富士岡中
⑦ 風 穴	1 8	M 4 3	L 3 6	富士岡中
⑧ 中清水	1 9	M 4 3	L 3 4	富士岡小

凡例：

第3次
避難対象エリア

第4次
避難対象エリア

第5次
避難対象エリア

第6次
避難対象エリア

富士岡地区溶岩流最速到達・最大影響範囲ドリルマップ

	ドリル マップ数	最速 到達	最大 範囲	一時集結地
⑨ 駒 門	1 9	L 3 6	L 3 2	富士岡小
⑩ 大 坂	1 7	M 4 3	L 3 4	富士岡中
⑪ 町 屋	1 7	M 4 3	L 3 4	神山小
⑫ 高 内	2	L 3 4	L 3 4	神山小
⑬ 尾 尻	1 6	M 4 3	L 3 4	神山小
⑭ 神 山	4	L 3 5	L 3 4	神山小
⑮ 富士見原	1 6	M 4 4	L 3 5	神山小

※ 令和5年度「富士山火山避難計画に関する自主防災会に対する説明会」(5.9.19)に作成した防災マップとオー
参照

凡例：

第3次
避難対象エリア

第4次
避難対象エリア

第5次
避難対象エリア

第6次
避難対象エリア

原里地区溶岩流最速到達・最大影響範囲ドリルマップ

	ドリル マップ数	最速 到達	最大 範囲	一時集結地
①川島田	1	L 3 1	L 3 1	森之腰公民館
②杉名沢	1 5	M 4 1	L 3 4	朝日小
③神 場	2 3	M 4 3	L 3 6	朝日小
④板 妻	2 3	M 4 2	L 3 6	原里中
⑤保土沢	1 7	M 4 1	L 3 4	原里小
⑥永 塚	1 0	L 3 4	L 3 4	市体育館
⑦北 畑	8	L 3 4	L 3 1	市体育館
⑧大 沢	8	L 3 2	L 3 1	朝日小

※ 令和5年度「富士山火山避難計画に関する自主防災会に対する説明会」(5.9.12)に作成した防災マップとオーラス参照

凡例：

第3次
避難対象エリア

第4次
避難対象エリア

第5次
避難対象エリア

第6次
避難対象エリア

玉穂地区溶岩流最速到達・最大影響範囲ドリルマップ

	ドリル マップ 数	最速 到達	最大 範囲	一時集結地
①茱萸沢下	1	L 3 1	L 3 1	玉穂第 1 保育園
②茱萸沢上	8	L 3 1	L 3 1	玉穂小
③中畑東	1 0	M 3 5	L 3 1	玉穂小
④中畑北	1 0	M 3 5	L 3 1	西中
⑤中畑南	1 0	L 3 4	L 3 4	西中
⑥中畑西	1 3	M 3 8	L 3 1	西中
⑦川 柳	1 0	L 3 4	L 3 4	西中

※ 令和 5 年度「富士山火山避難計画に関する自主防災会に対する説明会」(5.9.20)に作成した防災マップとオー
参照

凡例：

第 3 次
避難対象エリア

第 4 次
避難対象エリア

第 5 次
避難対象エリア

第 6 次
避難対象エリア

印野地区溶岩流最速到達・最大影響範囲ドリルマップ

	ドリル マップ数	最速 到達	最大 範囲	一時集結地
①小木原	1 6	M 4 1	L 3 4	樹空の森 西中
②時之栖	1 6	M 4 1	M 4 1	樹空の森 西中
③印 野	1 5	L 3 6	M 4 2	西中

※ 令和5年度「富士山火山避難計画に関する自主防災会に対する説明会」(5.9.21)に作成した防災マップとオー
参照

凡例：

第3次
避難対象エリア

第4次
避難対象エリア

第5次
避難対象エリア

第6次
避難対象エリア

高根地区溶岩流最速到達・最大影響範囲ドリルマップ

	ドリル マップ数	最速 到達	最大 範囲	一時集結地
①塚 原	5	M 3 5	L 2 9	高根中
②六日市場	4	M 3 5	L 2 9	高根小
③美乃和	5	M 3 5	L 3 3	高根小
④清 後	6	M 3 5	L 3 1	高根小
⑤山之尻	5	M 3 5	M 3 5	高根中
⑥柴怒田	6	M 3 5	L 3 1	市体育館
⑦上小林	8	L 3 0	L 3 1	高根中
⑧水土野	7	M 3 5	L 2 9	市体育館
⑨古 沢	5	L 2 8	L 2 9	高根小

※ 令和5年度「富士山火山避難計画に関する自主防災会に対する説明会」(5.10.3)に作成した防災マップとオー
参照

凡例：

第3次
避難対象エリア

第4次
避難対象エリア

第5次
避難対象エリア

第6次
避難対象エリア

溶岩流流下パターン別避難対象区

避難対象 エリア	溶岩流 到達時間	パターンA	パターンB	パターンC
3 次	2 時間			時之栖、印野、板妻
	3 時間			保土沢、神場
4 次	6 時間		中畑西	小木原、駒門、中清水 風穴、大坂、町屋、尾尻
	1 2 時間	柴怒田、仁杉 中畑北		杉名沢
	2 4 時間	上小林、水土野 山之尻、中畑東	川柳、中畑南、小木原 時之栖、永塚	竈、富士見原
5 次	7 日	古沢、塚原、六日市場 清後、美乃和 西田中、栢ノ木 北久原、御殿場、萩原 二枚橋、東田中 深沢、茱萸沢上 中畑西、中畑南	水土野、柴怒田 上小林、塚原、山之尻 六日市場、清後、仁杉、西田中 北久原、御殿場、萩原、中畑北 中畑東、茱萸沢上、保土沢 北畑、大沢、杉名沢、板妻 神場、竈、萩蕪、中山上 中山下、沼田、二子、駒門 中清水	中畑西、川柳、中畑南 中山下、神山、高内
6 次	最終		古沢、美乃和、栢ノ木、湯沢 二枚橋、東田中、鮎沢、深沢 茱萸沢下、川島田、神山、高内 風穴、大坂、富士見原、町屋 尾尻	永塚、北畑、大沢 中山上、二子
到達の危険なし		東山、二の岡、新橋、永原、森之腰、矢崎		

— : パターン避難

— : リアルタイムハザードマップ（ドリルマップ避難）による避難

規模別区分表（原里地区）

一連	地 区	区	溶岩流 計	L		M		S	
				数	番 号	数	番 号	数	番 号
31	原 里	川島田	1	1	③①				
32		森之腰	0						
33		杉名沢	15	7	③①③②③③③④③⑤③⑥③⑦	6	③⑦③⑧③⑨④④①④②	2	④②④③
34		神 場	23	8	③①③②③③③④③⑤③⑥③⑦③⑧	10	③⑦③⑧③⑨④④①④②④③④④④⑤④⑥	5	④①④②④③④④④⑤
35		板 妻	23	7	③②③③③④③⑤③⑥③⑦③⑧	10	③⑦③⑧③⑨④④①④②④③④④④⑤④⑥	6	④④④①④②④③④④④⑤
36		保土沢	17	7	③①③②③③③④③⑤③⑥③⑦	6	③⑦③⑧③⑨④④①④②	4	④④④①④②④③
37		永 塚	10	5	③①③②③③③④③⑤	4	③⑥③⑦③⑧③⑨	1	③⑨
38		北 畑	8	5	③①③②③③③④③⑤	3	③⑦③⑧③⑨		
39		大 沢	8	5	③①③②③③③④③⑤	3	③⑦③⑧③⑨		
40		矢 崎	0						

原里地区溶岩流最速到達・最大影響範囲ドリルマップ

	ドリル マップ数	最速 到達	最大 範囲	一時集結地
①川島田	1	L 3 1	L 3 1	森之腰公民館
②杉名沢	1 5	M 4 1	L 3 4	朝日小
③神 場	2 3	M 4 3	L 3 6	朝日小
④板 妻	2 3	M 4 2	L 3 6	原里中 朝日小
⑤保土沢	1 7	M 4 1	L 3 4	原里小 朝日小
⑥永 塚	1 0	L 3 4	L 3 4	市体育館
⑦北 畑	8	L 3 4	L 3 1	市体育館
⑧大 沢	8	L 3 2	L 3 1	朝日小

凡例：

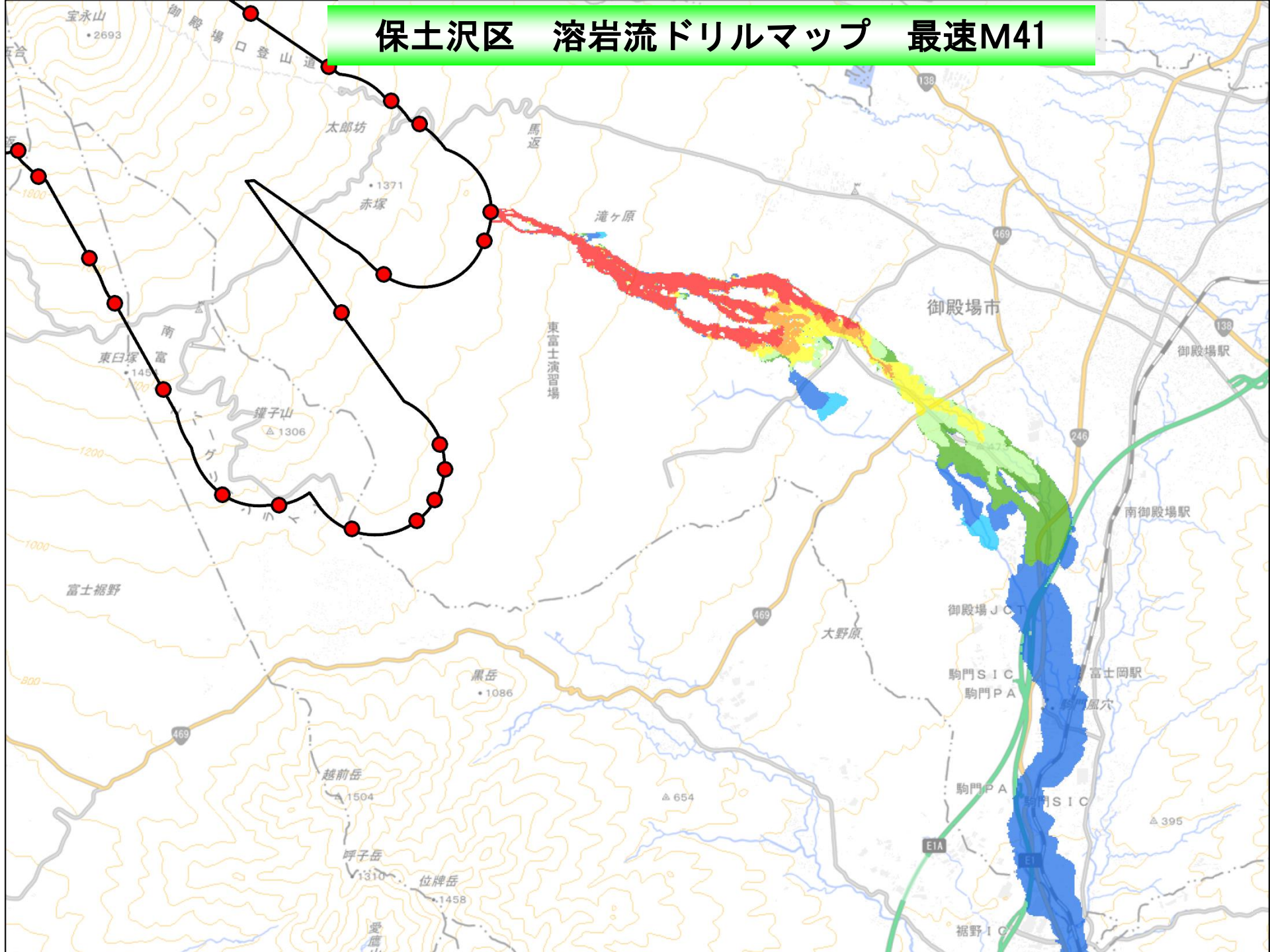
第3次
避難対象エリア
溶岩流3時間以内

第4次
避難対象エリア
溶岩流24時間以内

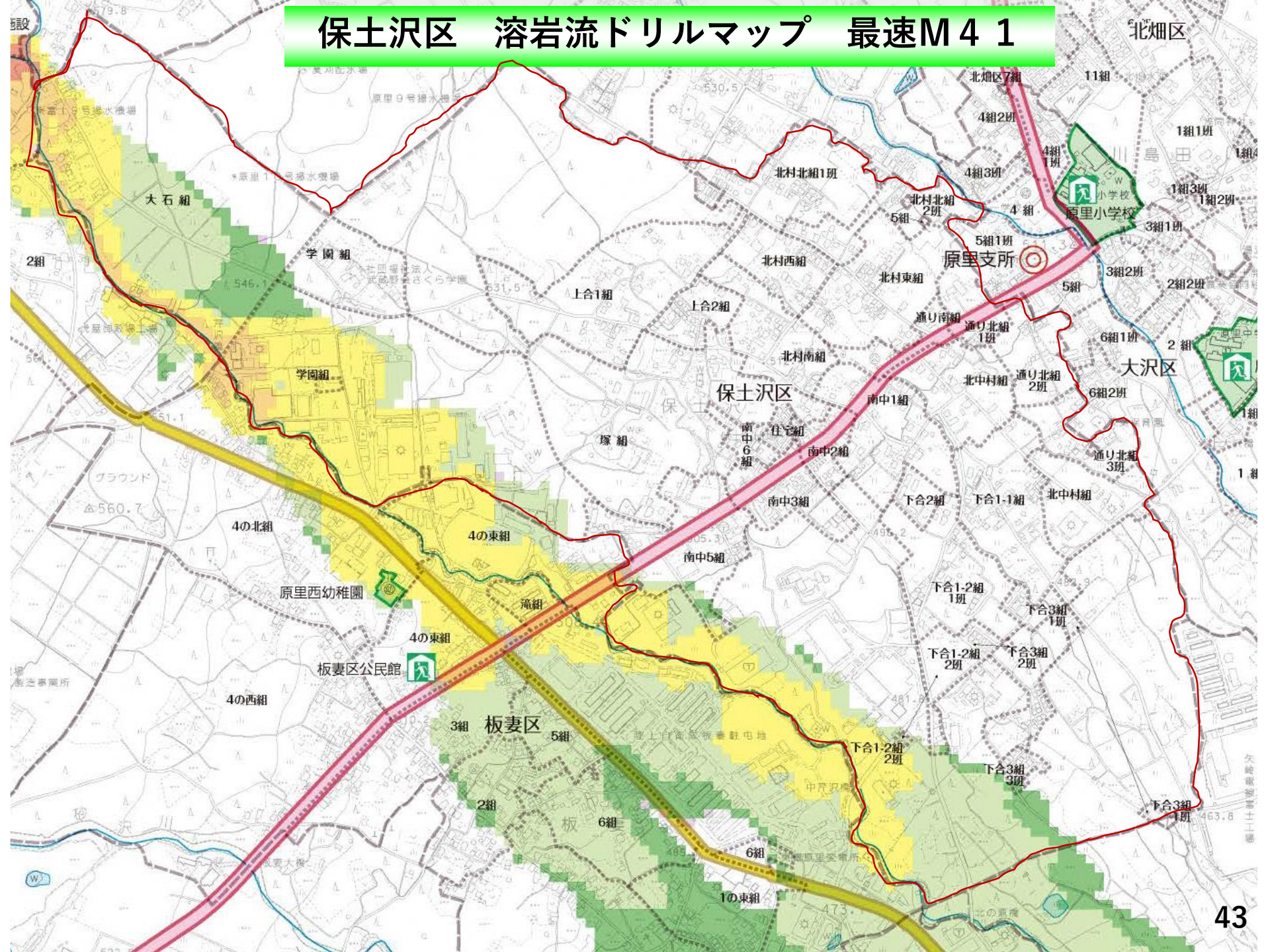
第5次
避難対象エリア
溶岩流7日以内

第6次
避難対象エリア
溶岩流最終的

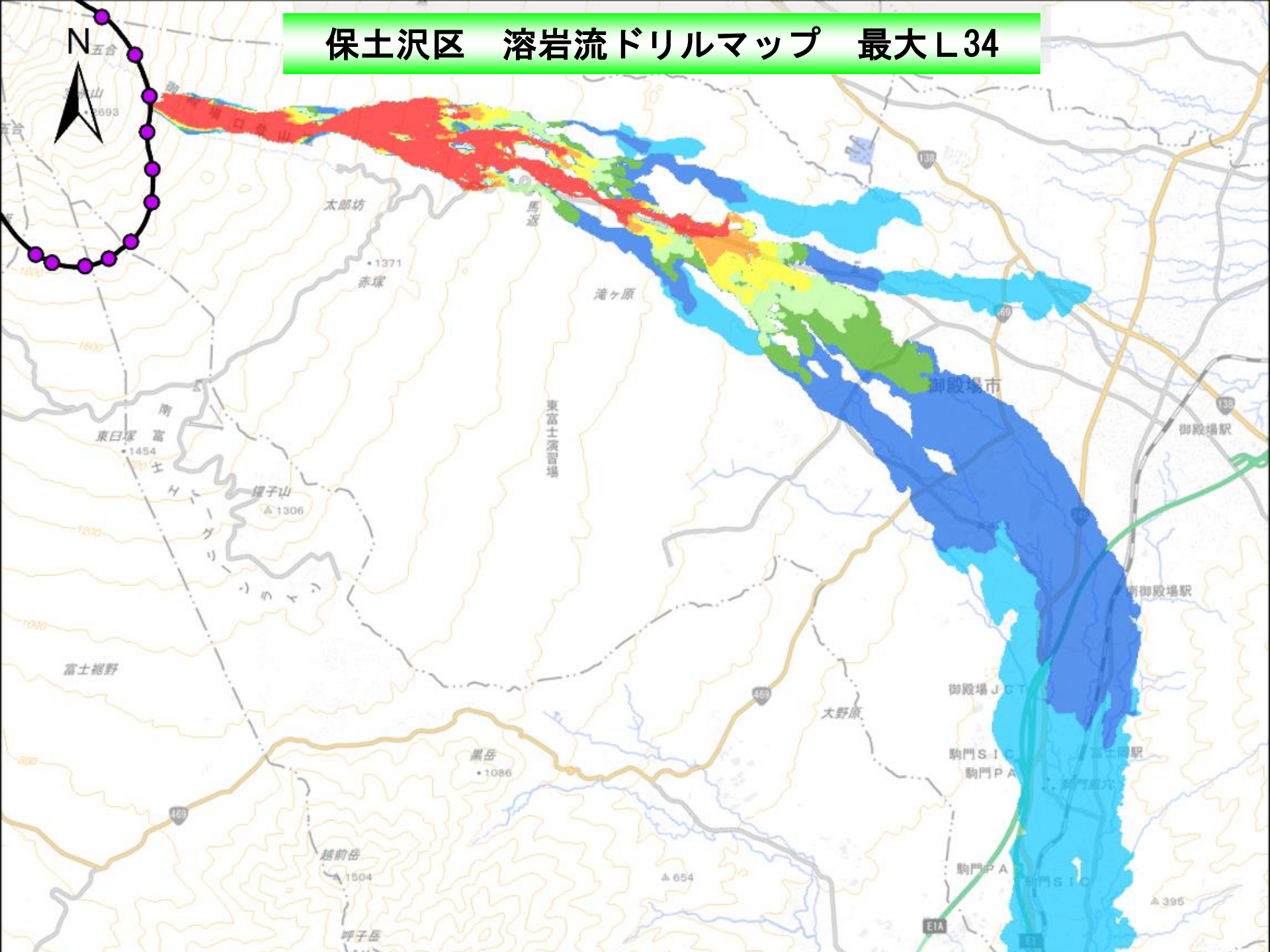
保土沢区 溶岩流ドリルマップ 最速M41



保土沢区 溶岩流ドリルマップ 最速M4 1



保土沢区 溶岩流ドリルマップ 最大L34



溶岩流流下パターン別避難対象区

避難対象 エリア	溶岩流 到達時間	パターンA	パターンB	パターンC
3次	2時間			時之栖、印野、板妻
	3時間			保土沢、神場
4次	6時間		中畑西	小木原、駒門、中清水 風穴、大坂、町屋、尾尻
	1 2時間	柴怒田、仁杉 中畑北		杉名沢
	2 4時間	上小林、水土野 山之尻、中畑東	川柳、中畑南、小木原 時之栖、永塚	竈、富士見原
5次	7日	古沢、塚原、六日市場 清後、美乃和 西田中、栢ノ木 北久原、御殿場、萩原 二枚橋、東田中 深沢、茱萸沢上 中畑西、中畑南	水土野、柴怒田 上小林、塚原、山之尻 六日市場、清後、仁杉、西田中 北久原、御殿場、萩原、中畑北 中畑東、茱萸沢上、保土沢 北畑、大沢、杉名沢、板妻 神場、竈、萩蕪、中山上 中山下、沼田、二子、駒門 中清水	中畑西、川柳、中畑南 中山下、神山、高内
6次	最終		古沢、美乃和、栢ノ木、湯沢 二枚橋、東田中、鮎沢、深沢 茱萸沢下、川島田、神山、高内 風穴、大坂、富士見原、町屋 尾尻	永塚、北畑、大沢 中山上、二子
到達の危険なし		東山、二の岡、新橋、永原、森之腰、矢崎		

— : パターン避難

— : リアルタイムハザードマップ（ドリルマップ避難）による避難

規模別区分表（玉穂地区）

一連	地区	区	溶岩流 計	L		M		S	
				数	番 号	数	番 号	数	番 号
41	玉 穂	茱萸沢下	1	1	③①				
42		茱萸沢上	8	5	③①③②③③③④	3	③⑤③⑥③⑦		
43		中畑東	10	6	②⑨③①③②③③③④	4	③④③⑤③⑥③⑦		
44		中畑北	10	6	②⑨③①③②③③③④	4	③④③⑤③⑥③⑦	0	
45		中畑南	10	5	③①③②③③③④③⑤	5	③⑤③⑥③⑦③⑧③⑨		
46		中畑西	13	5	③①③②③③③④③⑤	5	③⑤③⑥③⑦③⑧③⑨	3	③⑧③⑨④⑩
47		川 柳	10	5	③①③②③③③④③⑤	4	③⑥③⑦③⑧③⑨	1	③⑨

玉穂地区溶岩流最速到達・最大影響範囲ドリルマップ

	ドリル マップ 数	最速 到達	最大 範囲	一時集結地
①茱萸沢下	1	L 3 1	L 3 1	玉穂第 1 保育園
②茱萸沢上	8	L 3 1	L 3 1	玉穂小
③中畑東	1 0	M 3 5	L 3 1	玉穂小
④中畑北	1 0	M 3 5	L 3 1	西中
⑤中畑南	1 0	L 3 4	L 3 4	西中
⑥中畑西	1 3	M 3 8	L 3 1	西中
⑦川 柳	1 0	L 3 4	L 3 4	西中

※ 令和 5 年度「富士山火山避難計画に関する自主防災会に対する説明会」(5.9.20)に作成した防災マップとオー
参照

凡例：

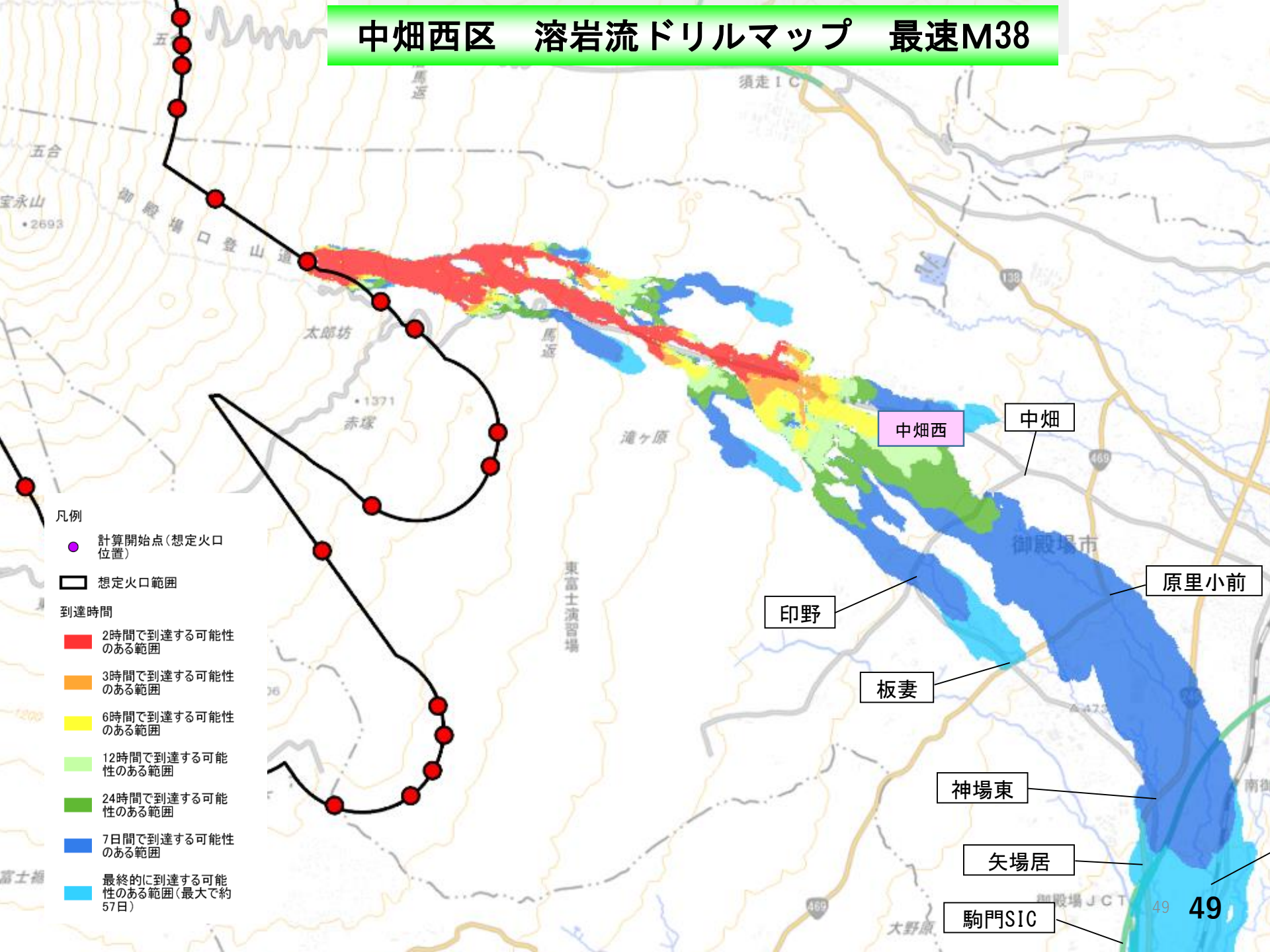
第 3 次
避難対象エリア

第 4 次
避難対象エリア

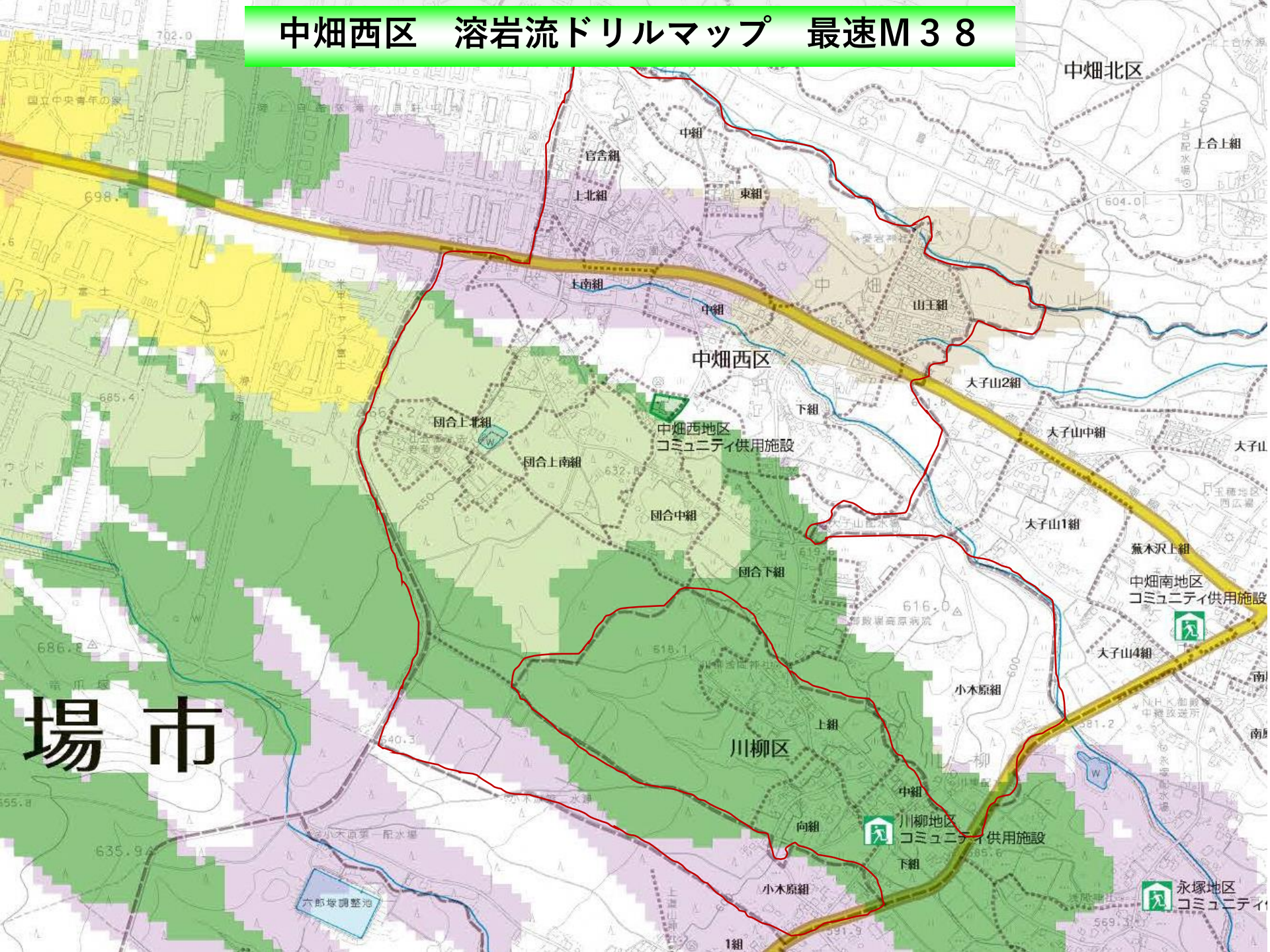
第 5 次
避難対象エリア

第 6 次
避難対象エリア

中畑西区 溶岩流ドリルマップ 最速M38

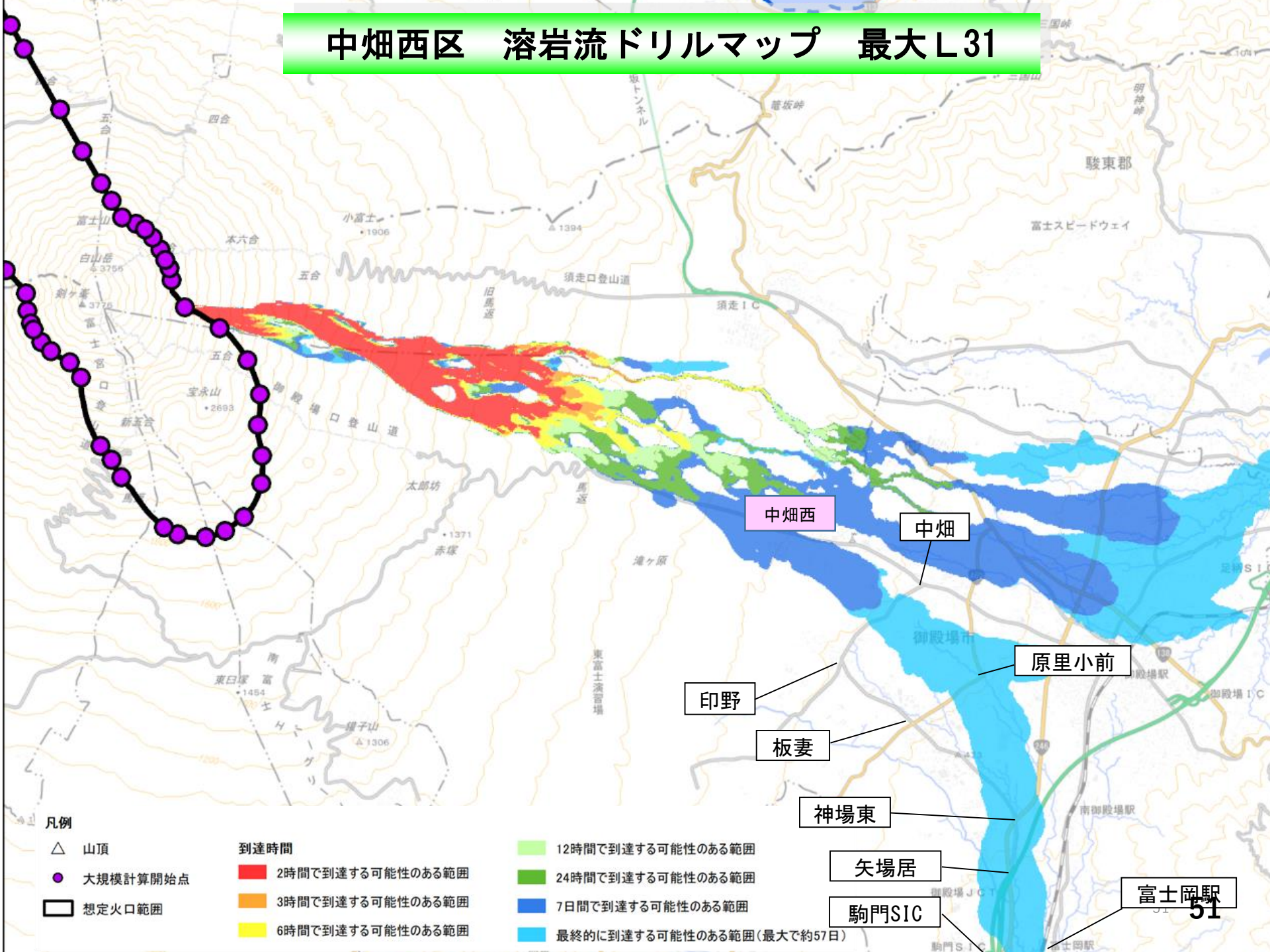


中畑西区 溶岩流ドリルマップ 最速M38

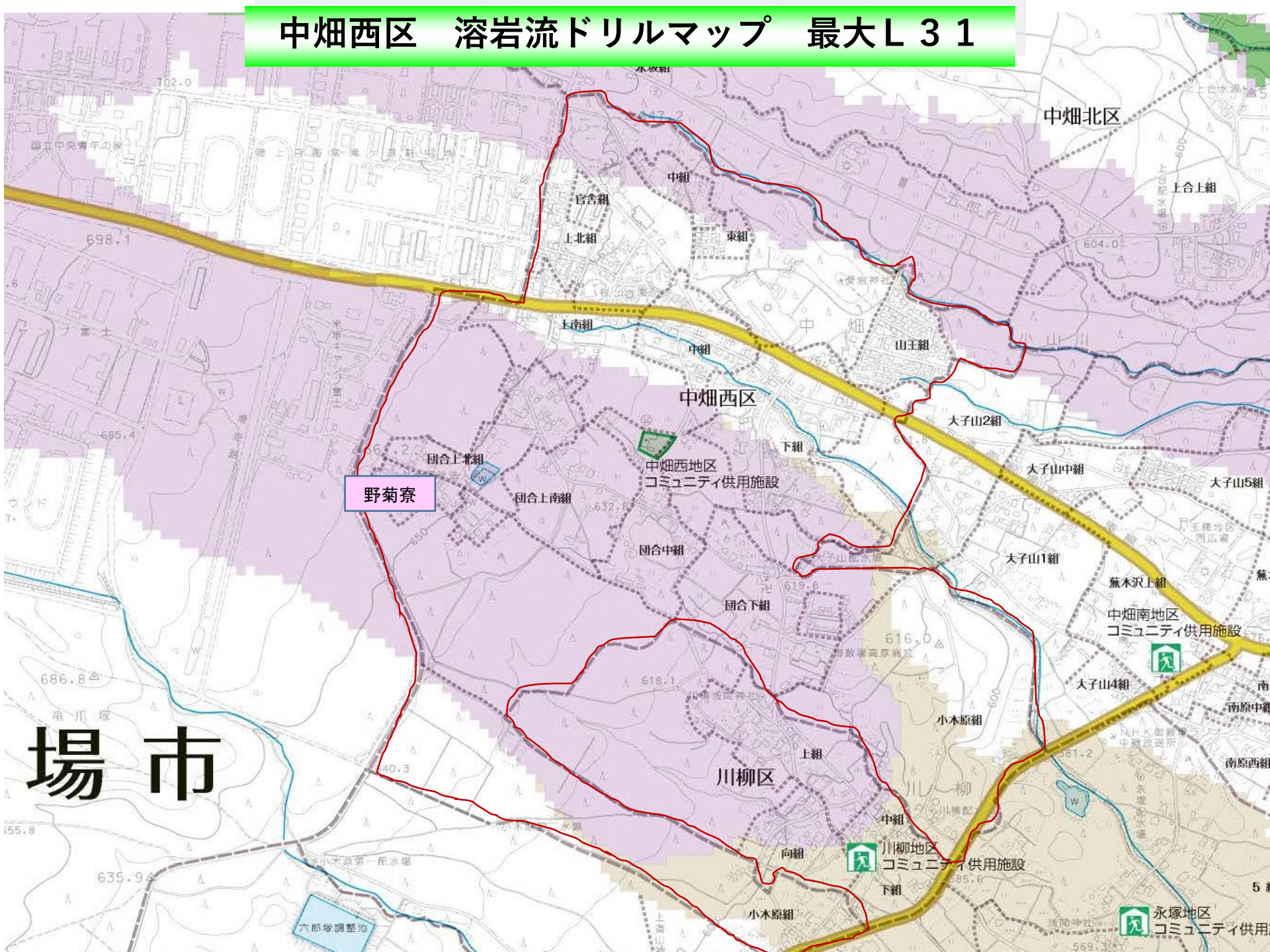


場市

中畑西区 溶岩流ドリルマップ 最大L31



中畑西区 溶岩流ドリルマップ 最大L 3 1



溶岩流流下パターン別避難対象区

避難対象 エリア	溶岩流 到達時間	パターンA	パターンB	パターンC
3 次	2 時間			時之栖、印野、板妻
	3 時間			保土沢、神場
4 次	6 時間		中畑西	小木原、駒門、中清水 風穴、大坂、町屋、尾尻
	1 2 時間	柴怒田、仁杉 中畑北		杉名沢
	2 4 時間	上小林、水土野 山之尻、中畑東	川柳、中畑南、小木原 時之栖、永塚	竈、富士見原
5 次	7 日	古沢、塚原、六日市場 清後、美乃和 西田中、栢ノ木 北久原、御殿場、萩原 二枚橋、東田中 深沢、茱萸沢上 中畑西、中畑南	水土野、柴怒田 上小林、塚原、山之尻 六日市場、清後、仁杉、西田中 北久原、御殿場、萩原、中畑北 中畑東、茱萸沢上、保土沢 北畑、大沢、杉名沢、板妻 神場、竈、萩蕪、中山上 中山下、沼田、二子、駒門 中清水	中畑西、川柳、中畑南 中山下、神山、高内
6 次	最終		古沢、美乃和、栢ノ木、湯沢 二枚橋、東田中、鮎沢、深沢 茱萸沢下、川島田、神山、高内 風穴、大坂、富士見原、町屋 尾尻	永塚、北畑、大沢 中山上、二子
到達の危険なし		東山、二の岡、新橋、永原、森之腰、矢崎		

— : パターン避難

— : リアルタイムハザードマップ（ドリルマップ避難）による避難

規模別区分表（御殿場地区）

Aパターン

Bパターン

一連	地区	区	溶岩流 計	L		M		S	
				数	番 号	数	番 号	数	番 号
1	御殿場	御殿場	6	5	②⑨③①③②③③	1	③⑤		
2		深 沢	5	4	③①③②③③	1	③⑤		
3		東 山	0						
4		東田中	5	4	③①③②③③	1	③⑤		
5		二の岡	0						
6		鮎 沢	2	2	③①③②				
7		新 橋	0						
8		湯 沢	0						
9		萩 原	7	4	③①③②③③	3	③⑤③⑥③⑦		
10		二枚橋	5	4	③①③②③③	1	③⑤		
11		西田中	6	4	②⑨③①③③	2	③⑤③⑥		
12		北久原	7	5	②⑨③①③②③③	2	③⑤③⑥		
13		仁 杉	10	6	②⑨③①③②③③③④	4	③④③⑤③⑥③⑦		
14		栢ノ木	5	3	②⑨③①③③	2	③⑤③⑥		
15		永 原	0						

御殿場地区溶岩流最速到達・最大影響範囲ドリルマップ

	ドリル マップ数	最速 到達	最大 範囲	一時集結地
①御殿場	6	M 3 5	L 3 1	御殿場高
②深 沢	6	M 3 5	L 3 1	Y M C A 東山荘
③東田中	5	M 3 5	L 3 1	富士見公園
④鮎 沢	2	L 3 1	L 3 1	鮎沢公民館
⑤萩 原	7	M 3 5	L 3 1	中央公園
⑥二枚橋	5	M 3 5	L 3 1	御殿場小
⑦西田中	6	M 3 5	L 3 1	御殿場高 東小、御殿場小
⑧北久原	8	M 3 5	L 3 1	御殿場中
⑨仁 杉	1 0	M 3 5	M 3 5	市体育館
⑩栢ノ木	2	M 3 5	L 3 1	御殿場高

※ 令和5年度「富士山火山避難計画に関する自主防災会に対する説明会」(5.9.26)に作成した防災マップとオーバーレイ 参照

凡例：

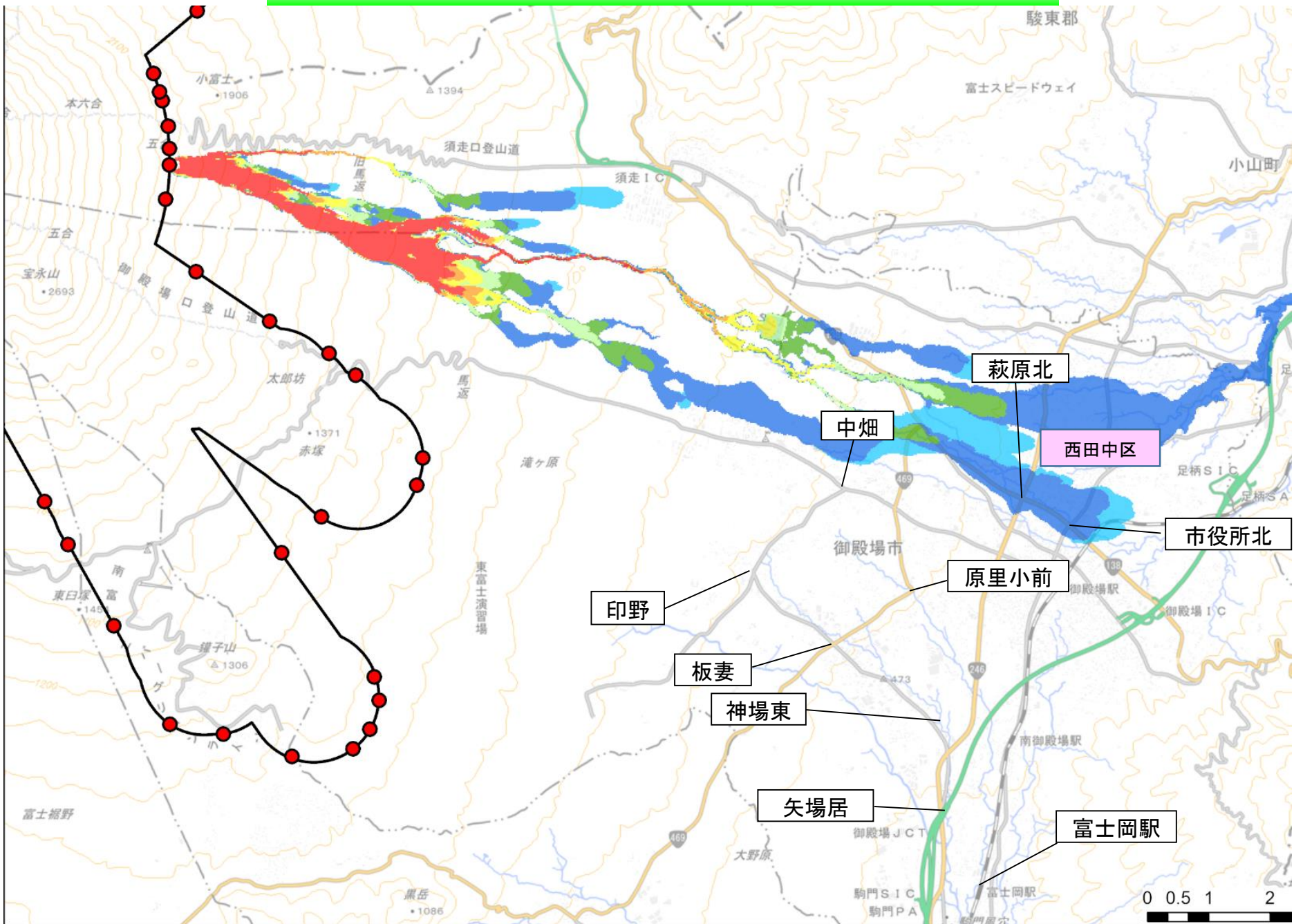
第3次
避難対象エリア

第4次
避難対象エリア

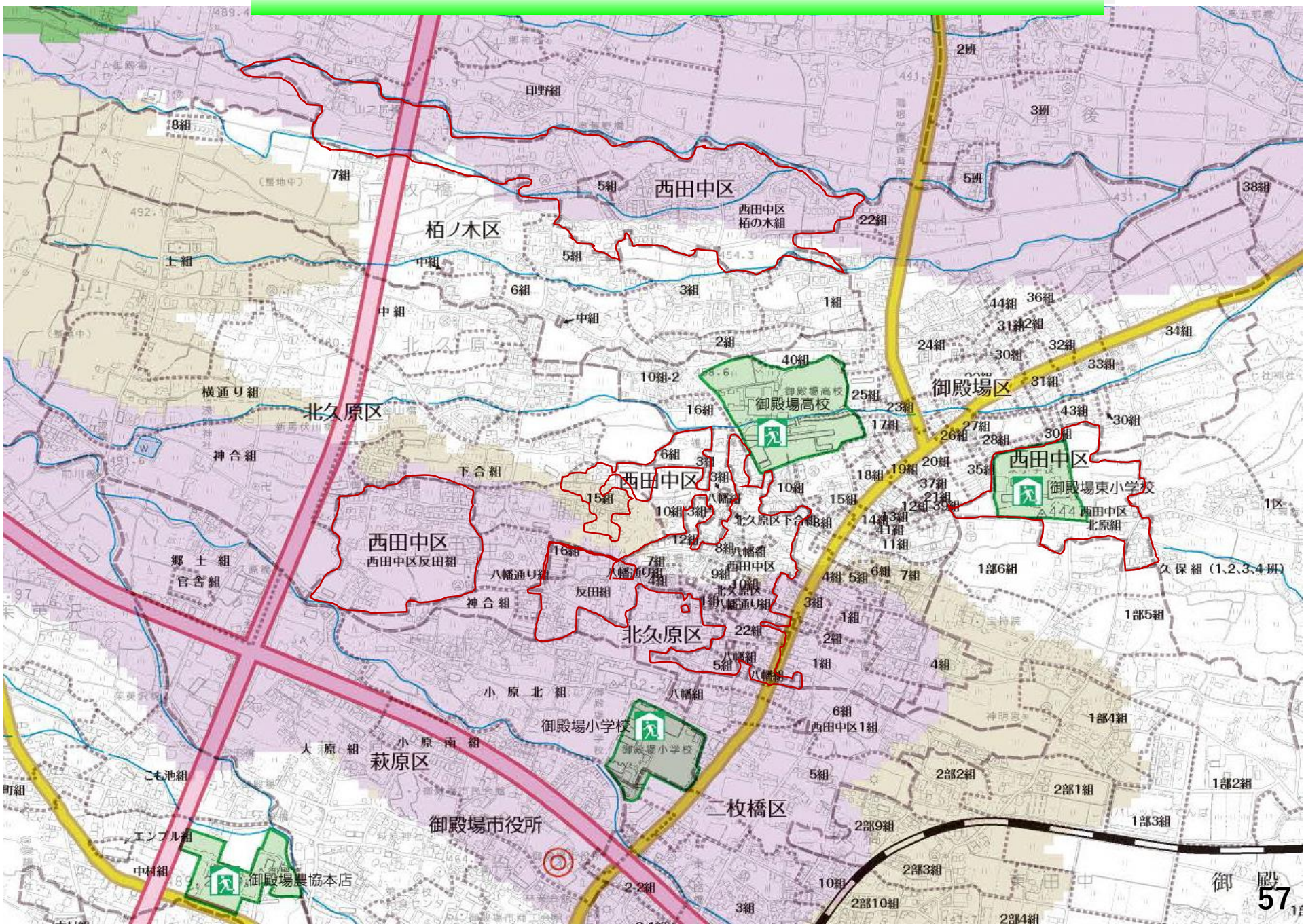
第5次
避難対象エリア

第6次
避難対象エリア

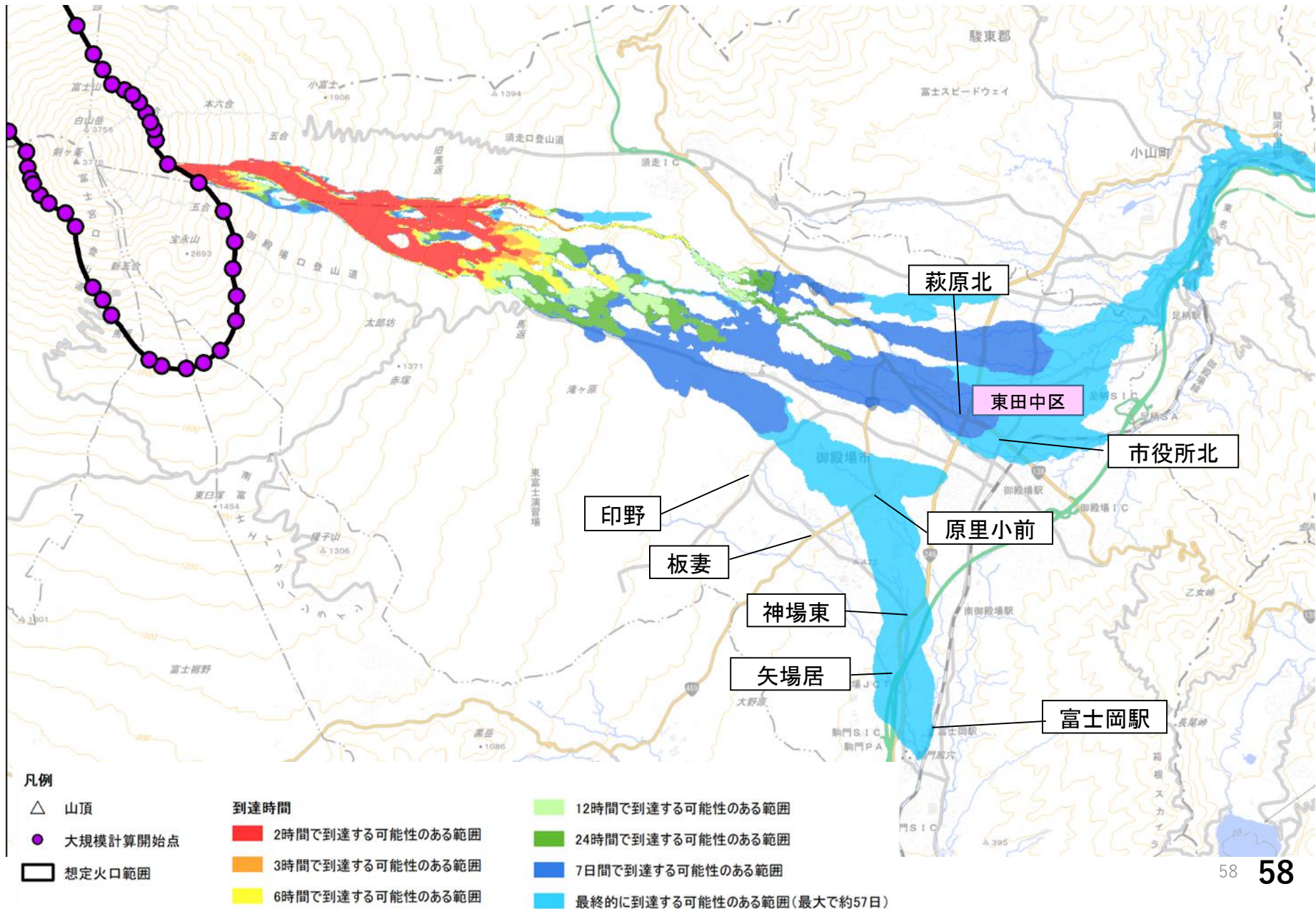
西田中区 溶岩流ドリルマップ 最速M35



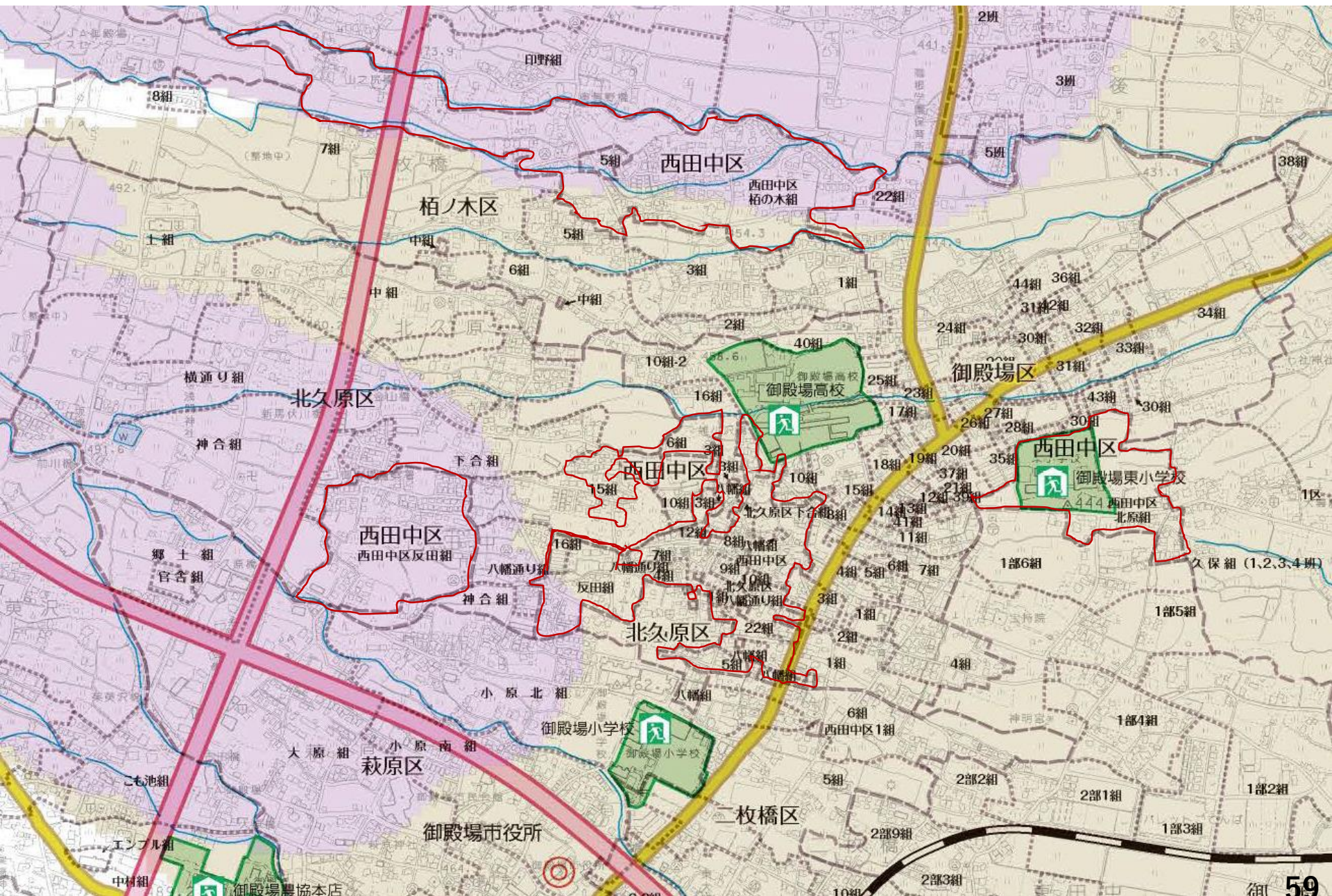
西田中区 溶岩流ドリルマップ 最速M35



西田中区 溶岩流ドリルマップ 最大L31



西田中区 溶岩流ドリルマップ 最大L31



噴火警戒レベルにおける火山活動と対応の基準

種別	名 称	対象範囲	噴火警戒レベルとキーワード		説明			
					火山活動の状況	住民等の行動	登山者・入山者への対応	
特別 警報	噴火警報 (居住地域) 又は 噴火警報	居住地域 及び それより 火口側	レベル 5	避難		居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要（状況に応じて対象地域や方法を判断）。	
			レベル 4	高齢者等 避難		居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される（可能性が高まってきている）。	警戒が必要な居住地域での高齢者等の要配慮者の避難、住民の避難の準備等が必要（状況に応じて対象地域を判断）。	
警報	噴火警報 (火口周辺) 又は 火口周辺警報	火口から 居住地域 近くまで	レベル 3	入山規制		居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活（今後の火山活動の推移に注意。入山規制）。状況に応じて高齢者等の要配慮者の避難の準備等。	登山禁止・入山規制等、危険な地域への立入規制等（状況に応じて規制範囲を判断）。
		火口周辺	火山の状況に関する解説情報 (臨時)			火口周辺に影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活。（状況に応じて火山活動に関する情報収集、避難手順の確認、防災訓練への参加等）。	火口周辺への立入規制等（状況に応じて火口周辺の規制範囲を判断）。
予報	噴火予報	火口内等	レベル 1	活火山であることに留意		火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）。		特になし（状況に応じて火口内への立入規制等）。

60

富士山火山における避難の全体イメージ

※それぞれの地域特性を考慮し必要に応じて調整

噴火警戒レベル別の対応

⇒ 御殿場市の対象エリア：第3～

避難対象エリア		第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次
対象とする範囲 噴火警戒レベル	対象とする範囲	想定火口範囲	火砕流・火砕サー ジ、大きな噴石が 到達する可能性の ある範囲、融雪型 火山泥流の一部	溶岩流が3時間以 内に到達する可能 性がある範囲 (2～3時間)	溶岩流が24時間 以内に到達する可 能性がある範囲 (6・12・24時間)	溶岩流が7日以内 に到達する可能性 がある範囲 (2～7日)	溶岩流が最終的に 到達する可能性が ある範囲
	レベル1		平 時（活火山であることに留意）				
解 説 情 報 【臨時】	住 民	情報収集体制（行政機関から出される情報に注意）					
	観光客 等	登山者は下山、第4次避難対象エリアまでに滞在する観光客等は レベル3までに帰宅				情報収集体制 (行政機関から出される情報に注意)	
	分 散 避 難	影響範囲外への自主的な避難を この場合、避難対象エリアに拘わらず					
レベル3	住 民	避難行動要支援者、 一般住民とも避難	園児・児童・生徒の引き渡し				
	観光客 等	第4次避難対象エリアより内側に滞在する観光客等はレベル1～3のうちに帰宅				情報収集体制 (行政機関から出される情報に注意)	
	分 散 避 難		分散避難を実施影響範囲外 この場合、避難対象エリアに				
レベル4	避難済み ※逃げ遅れが生 じた場合、救出 救助 噴火状況判明後	避難行動要支援者、 一般住民とも避難	要支援者避難	情報収集体制 (行政機関から出される情報に注意)			
レベル5		避難済み ※逃げ遅れが生 じた場合、救出 救助	一般住民は 情報収集体制	要支援者は 避難準備	情報収集体制 (行政機関から出される情報に注意)		
噴火直後			溶岩流の影響が ある地域は避難	避要支援者は 必要に応じ 避難開始	情報収集体制 (行政機関から出される情報に注意)		
噴火状況判明後			溶岩流の流下方向(影響エリア)は避難 (降灰が生じた場合、車両での避難は困難となるため、徒歩での避難)				
			降灰後土石流の可能性のある地域から避難				
	降灰時は、原則自宅又は堅牢な建物での屋内避難						

※ 上記は、標準的な対応を示したものであり、各市町村が地域特性を考慮した上で、避難準備や移動手段を選択し、それぞれの計画とすることを想定

溶岩流の流下に伴う避難対象エリア別避難等開始基準（いつ）

避難対象 エリア	第 1 次	第 2 次	第 3 次	第 4 次	第 5 次	第 6 次		
避難者の 属性	観光客等 (登山者を含む。)	観光客等	要支 援者	一般 市民	要支 援者	一般 市民	要支 援者	一般 市民
レベル 1	平 時 (活火山であることに留意)							
解説情報 (臨時)	帰 宅 (登山者は下山)	帰 宅	情報収集					
レベル 3			避難 準備	情報収集				
園児・児童・生徒の引き渡し								
レベル 4			避難 開始	避難準備	情報収集			
レベル 5				避難準備		情報 収集	避難 準備	情報 収集
噴火直後				避難開始 (対象パターンで 必要な範囲)		避難準備		
噴火状況 判明後						避難開始 (リアルタイムハザードマップで 必要な範囲)		

3 すずらんの避難（案）について

避難行動要支援者の避難開始基準

通院・通所型の施設にあっては、遅くとも地域ごとに定められた避難行動要支援者の避難開始基準までに施設を閉鎖し、利用者を避難させる。

（富士山火山避難基本計画より）

表 3-18 避難行動要支援者等の避難開始基準

実施時期	避難対象エリア
噴火警戒レベル3	第1次避難対象エリア（全方位）
噴火警戒レベル4	第2次及び第3次避難対象エリア（全方位）
噴火警戒レベル5（噴火前）	第4次避難対象エリア（移動に時間がかかる者）
噴火開始直後	第4次避難対象エリア（移動に時間がかかる者）
噴火状況判明後	溶岩流の流下が見込まれる範囲

病院施設の対応例

【山体の近くに位置する施設の例】

噴火警戒レベル		警戒体制	基本方針	
レベル	キーワード		外来(透析含む)	手術
5	避難	避難	中止	中止
4	高齢者等避難	避難開始	中止	中止
3	入山規制	入院制限	制限(緊急を要する患者のみ対応)	制限(緊急を要する患者のみ対応)
噴火警戒レベル1 「火山の状況に関する解説情報(臨時)」	—	情報収集体制	通常体制	通常体制
1	活火山であることに留意	通常体制	通常体制	通常体制

【噴火後5～7日程度で溶岩流が到達する可能性がある地域に位置する施設の例】

噴火警戒レベル		警戒体制	基本方針	
レベル	キーワード		外来(透析含む)	手術
5	避難	「1～2日以内に溶岩流が到達する可能性が高まった場合」 避難開始	中止	中止
		「噴火後、溶岩流の流下範囲内となる可能性が判明した場合」 入院制限	制限(緊急を要する患者のみ対応)	制限(緊急を要する患者のみ対応)
		「噴火後、溶岩流の流下範囲が特定されるまでの間」 情報収集体制	通常体制	通常体制
4	高齢者等避難	情報収集体制 (状況に応じて、避難を開始した施設の入院入所者の受入を検討)	通常体制	通常体制
3	入山規制	情報収集体制	通常体制	通常体制
噴火警戒レベル1 「火山の状況に関する解説情報(臨時)」	—	情報収集体制	通常体制	通常体制
1	活火山であることに留意	通常体制	通常体制	通常体制

避難行動要支援者の避難イメージ

避難行動要支援者の避難について、特に噴火前や噴火開始直後に**予備的に避難を行う場合**は、必ずしも影響範囲外まで立ち退かなくとも、図 3-14 のように移動用車両を待機させ、**速やかに避難できる体制**への移行も含むものとする。



図 3-14 避難行動要支援者等の避難イメージ

避難行動要支援者搬送の中継ポイント設置のイメージ

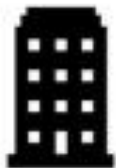
噴火前や噴火開始直後に予備的に避難を行う場合は、必ずしも影響範囲外まで立ち退かなくとも、図 3-14 のように移動用車両を待機させ、**速やかに避難できる体制**への移行も含むものとする。



図 3-15 避難行動要支援者搬送の中継ポイント設置のイメージ

避難実施施設と避難受入施設のイメージ

■ 要支援者関連施設からの避難 (避難実施施設)



【避難対応】

- ・ 入院、入所者の家族等と緊急時の対応について事前調整
- ・ 避難の受け入れ先、中継ポイント候補地の検討（避難確保計画等に位置づけ）
- ・ 避難時は、搬送人数、時間等を受入施設と調整

■ 要支援者関連施設へ避難 (避難受入施設)



【受け入れ対応】

- ・ 連携、連携先の要支援者関連施設がある場合、事前に予定人数を把握し受け入れ体制を構築
- ・ 突発的な受け入れに対応できるように収容可能人数を共有
- ・ 噴火の状況に応じて、更なる避難の必要性の検討

図 3-16 避難実施施設と避難受入施設のイメージ

すずらんの避難について（案）

1 避難対象エリア	第4次避難対象エリア （24時間以内に流下）
2 避難の時期	噴火警戒レベル4 （高齢者等避難）
3 避難先	避難対象エリア外の 社会福祉法人博友会の施設
4 避難の手段	施設の車両 ・マイクロバス等

御殿場市の福祉避難所

		施設名	種別	所在地	電話	対象避難所（参考）
1	御殿場地区	御殿場十字の園	高齢者	深沢1465-1	83-1999	御殿場高校、御殿場小学校 鮎沢公民館、Y M C A 東山荘 東小学校、二の岡地区コミセン
2	富士岡地区	富岳の園	障害者	神山1925-1148	87-0167	南小学校、御殿場南高校 神山小学校 駒門地区児童構成体育施設
3		富岳の郷	障害者	神山1940-7	87-3198	御殿場高校、御殿場小学校、南中学校 鮎沢公民館、Y M C A 東山荘 二の岡地区コミセン、東小学校 竈幼稚園、富士岡小学校、富士岡中学校
4		オレンジシャトー富岳	高齢者	神山1925-1193	87-5553	竈幼稚園、富士岡小学校 富士岡中学校、神山小学校 駒門地区児童厚生体育施設 印野小学校
5	原里地区	さくら学園	障害者	川島田1976	89-0789	原里小学校、原里中学校、朝日小学校 森之腰幼稚園、原里西幼稚園 高根小学校 高根第2保育園
6		白雪	高齢者	川島田270	82-7601	御殿場南小学校、南中学校、原里小学校、 原里中学校、森之腰幼稚園、原里西幼稚園 朝日小学校
7	玉穂地区	野菊寮	障害者	中畑1798	89-1421	御殿場愛郷報徳会館 御殿場農協本店 玉穂第1保育園、玉穂小学校 中畑西区コミセン 印野小学校
8	高根地区	すずらん	高齢者	上小林1527-19	78-7900	御殿場南高校、御殿場愛郷報徳会館 御殿場農協本店 玉穂第1保育園、玉穂小学校 中畑西区コミセン 高根小学校、高根第2保育園

参考資料 避難促進施設への指定及び 避難確保計画の作成

1 指定の意義・目的及び位置づけ

避難促進施設とは活火山法に基づき、火山噴火などの影響範囲内に立地する施設で、火山現象による被害から**施設利用者を円滑に避難させる**ことを目的としている。
避難促進施設は市町が地域防災計画に定めるものであるが、富士山として統一的に進めるため、**協議会にて統一基準を定める**こととする。

2 協議会統一基準

(避難対象エリア別の避難促進施設に指定すべき対象施設)

避難対象エリア	対象となる施設	施設の例
第1次避難対象エリア	・ 施行令第1条第1項に該当する全ての施設 ・ 施行令第1条第2項に該当する全ての施設	宿泊施設、観光施設 など 学校・児童関連施設、社会福祉施設、医療施設など
第2次避難対象エリア 及び融雪型火山泥流による影響想定範囲のうち事前の避難が必要な区域	・ 施行令第1条第1項のうち大規模な集客施設※ ・ 施行令第1条第2項第2号から第6号及び第8号のうち入院、入所施設を有する施設 ・ 施行令第1条第2項第1号及び第7号に該当する施設	宿泊施設、観光施設 など 社会福祉施設、医療施設など 学校・児童関連施設
第3次避難対象エリア	・ 施行令第1条第2項第2号から第6号及び第8号のうち入院、入所施設を有する施設 ・ 施行令第1条第2項第1号及び第7号に該当する施設	社会福祉施設、医療施設 など 学校・児童関連施設
第4次避難対象エリア	施行令第1条第2項第1号及び第7号に該当する施設	学校・児童関連施設

※ 大規模な集客施設とは消防法施行令第4条の2の2第1項に規定される施設の規模（収容人員が300人以上のもの）を参考とする

3 学校・児童関連施設の避難対策（富士山火山避難基本計画第3編第3章3） （基本的な考え方）

第4次避難対象エリアから内側に位置する学校・児童関連施設のうち、※施行令第1条第2項第1号及び第7号に該当する施設について、市町は避難促進施設への指定を検討する。なお、第5次及び第6次避難対象エリアの学校・児童関連施設を避難促進施設に指定することを妨げるものではない。

※第1号：児童福祉法第六条の二の二第一項に規定する障害児通所支援事業（児童発達支援又は放課後等デイサービスを行う事業に限る。）、同法第六条の三第一項に規定する児童自立生活援助事業、同条第二項に規定する放課後児童健全育成事業、同条第三項に規定する子育て短期支援事業又は同条第七項に規定する一時預かり事業の用に供する施設

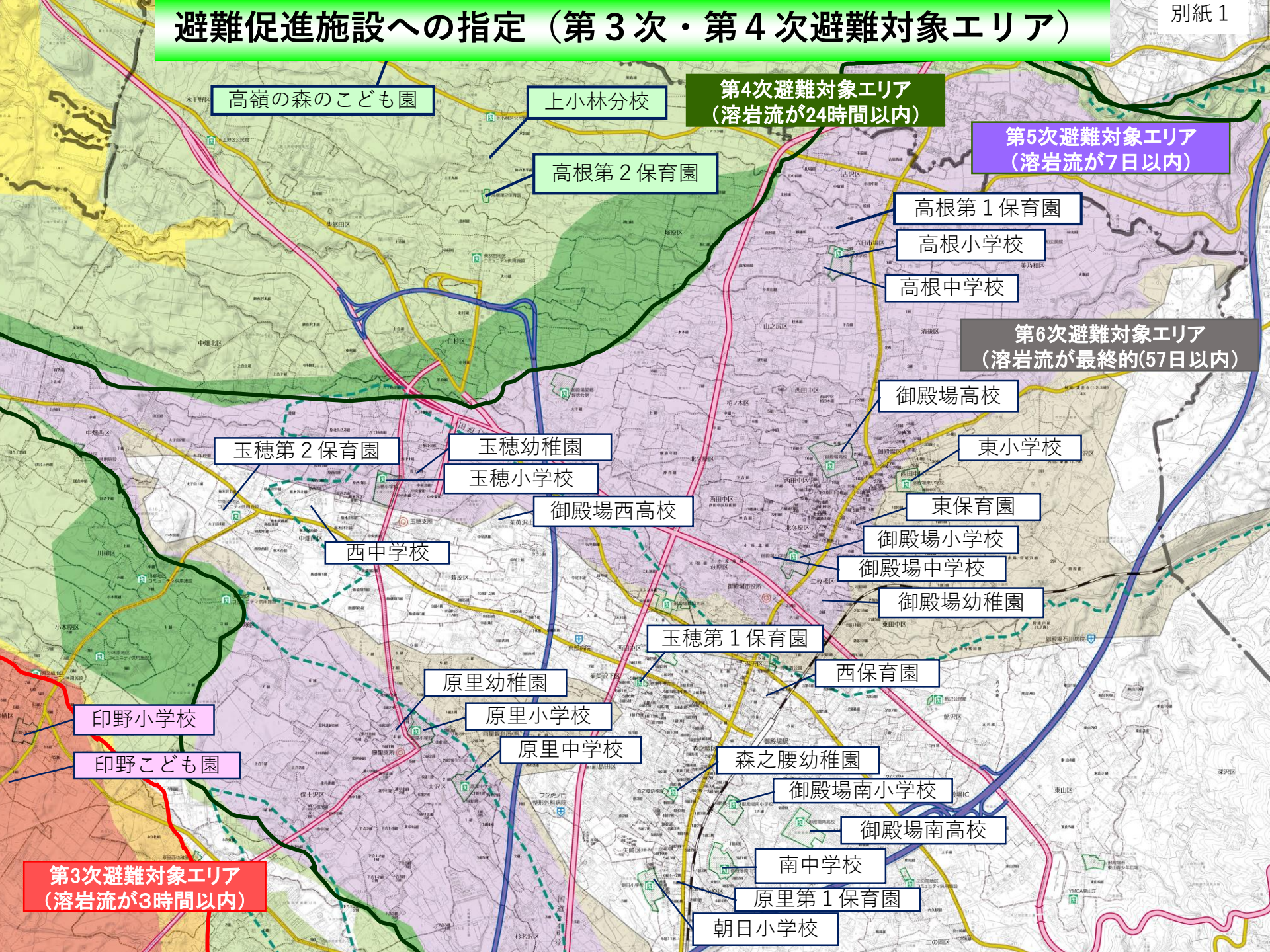
第7号：幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、高等専門学校又は専修学校（高等課程を置くものに限る。）

4 指定する学校・児童関連施設（検討案）

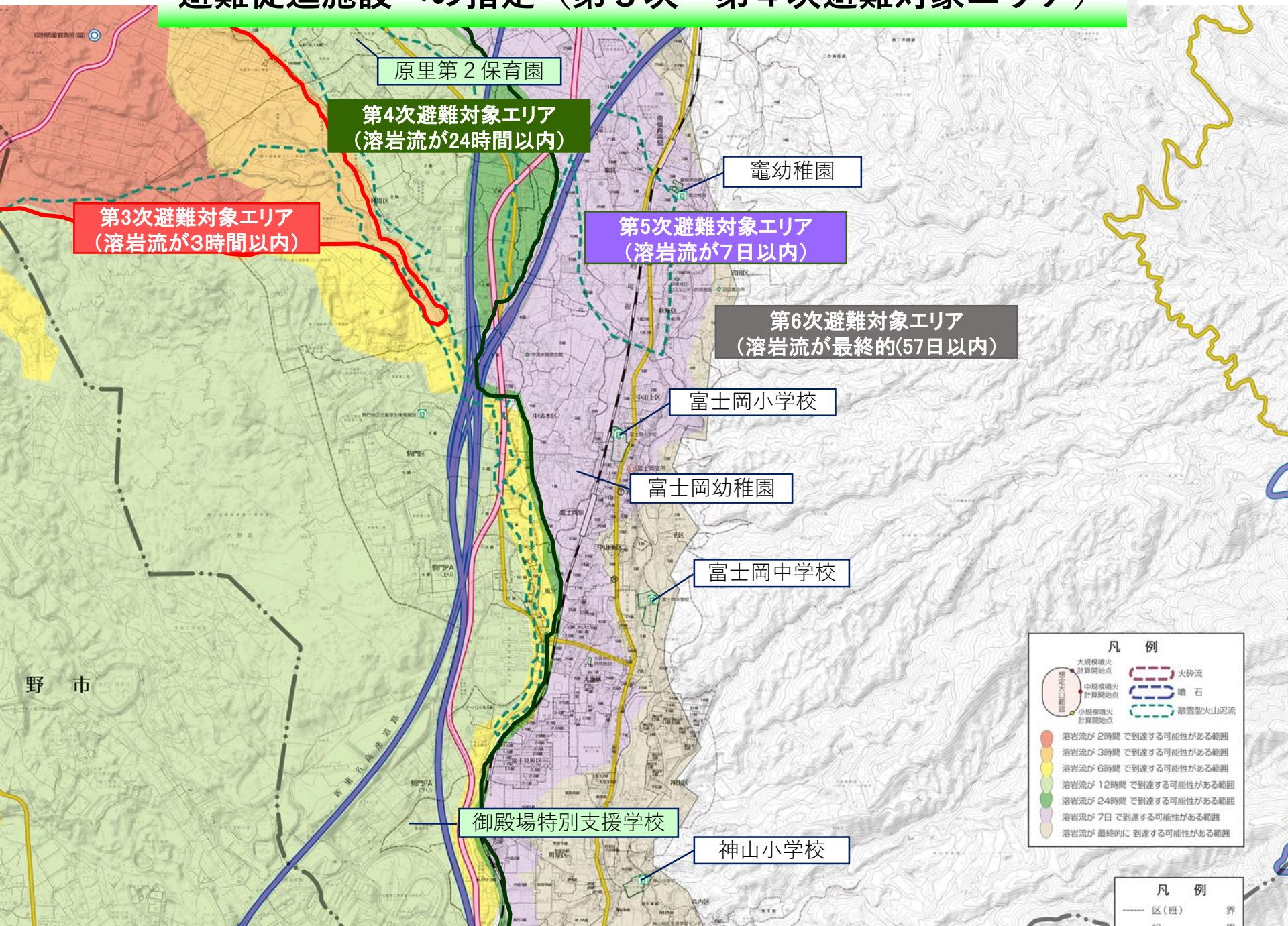
区 分	学校・児童関連施設
幼稚園 （4施設）	印野こども園、原里第2保育園、高根第2保育園 高嶺の森のこども園
小学校 （2施設）	印野小学校、上小林分校
特別支援学校 （1施設）	御殿場特別支援学校

5 避難促進施設への指定（第3次・第4次避難対象エリア） 別紙1、2参照

避難促進施設への指定（第3次・第4次避難対象エリア）



避難促進施設への指定（第3次・第4次避難対象エリア）



避難確保計画の作成について

表 3-17 社会福祉施設等が検討すべき事項（例）

- ・ 避難にあたっては、施設職員も避難対象者であることを認識し、入院患者等だけでなく職員の避難時間を確保することについて
- ・ 突発的な噴火発生により避難が間に合わない可能性が生じた際の緊急安全確保について
- ・ 緊急時の連絡体制について
（従業員の参集、入院・入所者等（その家族を含む）への連絡体制）
- ・ 施設のスリム化について（緊急時の家族への引き渡しの可否や転院先についての検討）
- ・ 診療やサービス停止時期及び停止時の連絡について
（所管の保健所及び救急指定病院は消防本部等の関係機関への連絡体制）
- ・ 緊急時の避難（転院搬送）に関する入院入所者もしくは親族からの事前承諾について
- ・ 避難開始時期について
（入院患者等が避難車両への乗車に要する時間等から逆算し判断、実際に入院患者等を移動させることが困難な場合、エレベーターの定員や一人あたりの移動時間から全員を施設外に移動させるために必要な時間を推計）
- ・ 備蓄品について
（医薬品や食料品だけでなく、降灰時に備え空調機器のフィルター等も備える）
- ・ カルテ等の患者情報のバックアップ及び持ち出し方法について
- ・ 系列施設等へ緊急時の避難（転院）を行うことについて
- ・ 避難（転院）時に必要となる車両数について
（緊急時に使用可能な車両台数には限りがあるため、施設の車両、介護タクシー、福祉タクシー等の活用も含め検討）
- ・ 緊急時の避難先や避難車両の確保に向けた協定等の締結について
- ・ 支援が必要となる人的資源、車両の数量について
- ・ 支援が必要となる場合にあっては、平時における情報の共有方法について
- ・ 避難訓練の実施方法について

0. はじめに

1. 計画の目的

2. 当施設の置かれた状況

3. 避難確保計画の対象とすべき人数及び範囲

4. 防災体制

5. 火山の状況の推移に応じた対応

6. 資器材の配備等（必要な物資等）

7. 防災教育及び訓練の実施、利用者等への周知・啓発

8. 参考資料

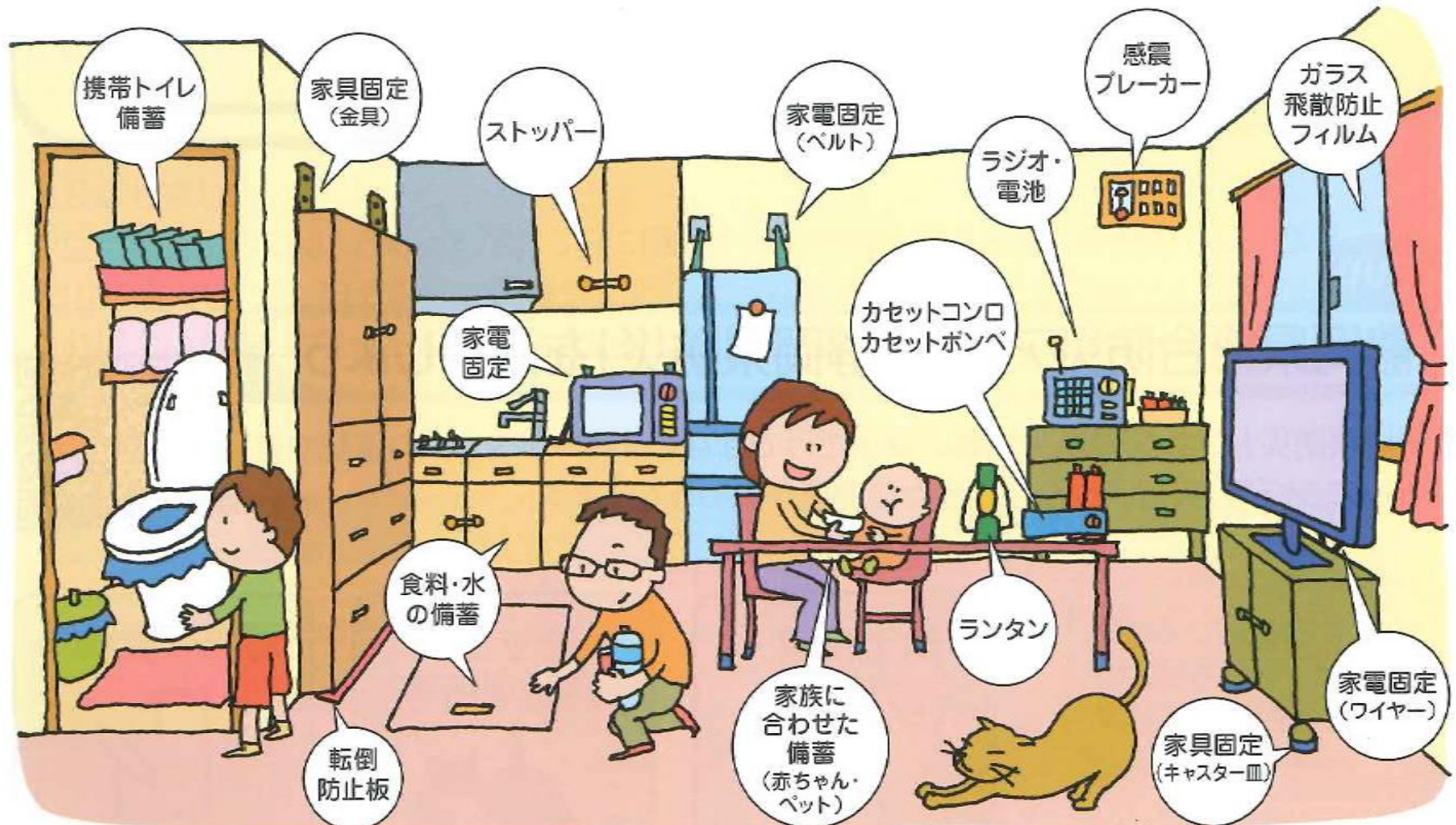
9. 様式集

10. その他

4 日頃の備え

自宅での避難生活

自宅の被害が軽微で、備蓄もしてあれば、自宅での生活を続けることができます。発災直後は、電気・上下水道・ガスなどのライフラインが止まるなどの不便はあっても、プライバシーを守ることができます。また、避難所などでの避難生活に比べ、速やかな生活再建に向け動き出すことができます。



在宅生活継続（在宅避難）が最良

耐震化（災害に強い家に住む）

震度7のような強い揺れの中では、人は何もできません。長時間を過ごす場所である自宅を、地震で倒壊しないようにしておくことが重要です。



昭和56年5月以前建築された木造住宅が対象

木造住宅耐震補強等事業			
耐震補強工事費への補助	震補強 なし	全員 6 5 歳以上	
最大 1 0 0 万円		2 0 万円	
税金の優遇制度（耐震改修促進税制）			
所得税	耐震補強工事費又は基準額の 1 0 % を控除（2 5 万円上限）		
固定資産税	耐震補強工事をする、1 年間半額に減税		

レイアウトを工夫し安全空間の確保

地震が起きても わが家で 暮らす方法

家具類の転倒防止

地震のとき、家具の転倒や棚からの物の落下、ガラスの破片などで、たくさんの人が死亡したり、ケガをしています。タンスや食器棚などの家具のほか、冷蔵庫やテレビなどの電化製品にも転倒や落下防止対策が必要です。窓ガラス等には飛散防止対策をしてください。また、寝室には、家具を置かない、家具を置く場合には、置く場所を工夫するなど安全に対する備えが必要です。

1 階

建物がひしゃげてドアが開かなくなった場合に備え下駄箱にボールを1本常備

家具のない安全なスペース

飛散防止フィルム

テレビも固定

下駄箱にボール

食器棚の開き戸には開き防止の金具をガラスには飛散防止フィルムを

鏡やガラス窓が割れると大変危険

冷蔵庫はベルトで電子レンジは粘着マットで固定

コンロの近くに燃えやすい物を置かない

ガスボイラーはチェーンで固定

ガスボンベはチェーンで固定

2 階

家具の上にガラス製品や重い物を置かない

壁掛け時計や絵画は針金やチェーンなどで固定

サイドボードの扉にはストッパーを付ける

ピアノはキャスターを固定

倒れる家具はベッドから離す

キャスターが滑りに固定

タンスは固定2段重ねのものはつなぎ目を金具で連結

これだけ準備しても、
家が倒壊してしまったら…。
やっぱり耐震化が大切です。

自宅が昭和56年5月31日以前に建てられた木造住宅の場合は、まずは耐震診断を受けてみましょう！
耐震診断は無料で受けることができます。また、耐震補強工事には、県や市町から補助金が出ます。
詳しいことは、お住まいの市町の建築の窓口にお問い合わせください。

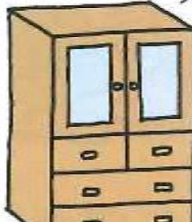
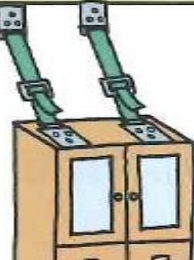
家具・家電の固定、ガラス飛散防止

大地震が突然来ても、命を失わないためには「家具・家電の固定」も重要です。また、ケガをしないためには「ガラス飛散防止」も大切です。

〈注意〉家具・家電の固定には、取り付ける場所の壁面や天井にも十分な強度が必要です。



【静岡県
わが家の地

使用条件	器具の効果				
	小				大
単独使用	 ストッパー式				
家庭内家具等転倒防止推進事業（御殿場市の状況）					
家庭内家具等転倒防止推進事業					
組み合わせて使用	固定台数	申請者負担額			
		一般世帯		高齢者世帯等	
	1台	2,100円		630円	
	2台	2,400円		720円	
	3台	2,700円		810円	
	4台	3,000円		900円	
	5台	3,300円		990円	

申請は1世帯につき1回限りです。

受付は御殿場市役所危機管理課(82-4370)または各支所、駅前サービスセンターへ

必要な物資等の備蓄

非常持出し品は、家族構成を考えて必要なものを用意しておきましょう。「わが家の非常持出し品リスト」を作り定期的に点検を行ない、非常持出し袋などに入れ、いつでも持ち出せる場所に置きましょう。また、備蓄しておき後で取り出す物と分けておきましょう。

ポイント



- 非常持ち出し品は、両手が見えるリュックタイプの袋などにまとめておきましょう。
- 避難の妨げにならないように、軽くコンパクトにまとめましょう。
- 自分に必要なものの優先順位を決めて準備しましょう。
- 定期的に中身をチェックしましょう。

貴重品

- ☐ 現金（小銭を含む）
- ☐ 車や家の予備鍵
- ☐ 予備の眼鏡、コンタクトレンズなど
- ☐ 通帳、保険証、免許証のコピー
- ☐ 母子健康手帳
- ☐ お薬手帳



情報収集用品

- ☐ 携帯電話（充電器を含む）
- ☐ 携帯ラジオ（予備電池を含む）
- ☐ 家族の写真（はぐれた時の確認用）
- ☐ 緊急時の家族、親戚、知人の連絡先
- ☐ 広域避難地図（ポケット地図でも可）
- ☐ 筆記用具・ノート



便利品など

- ☐ マスク
- ☐ ビニール袋
- ☐ アルミ製保温シート
- ☐ 毛布又は寝袋
- ☐ スリッパ
- ☐ 軍手か皮手袋
- ☐ マッチかライター
- ☐ 給水袋
- ☐ 雨具（レインコート、長靴など）
- ☐ レジャーシート
- ☐ テント
- ☐ バール・ジャッキ
- ☐ バイク・自転車
（できればノーパンク仕様）



食料など

- ☐ 食料品
(非常食3日分を含む7日分)
- ☐ 飲料水
(1人1日3リットルを7日分)



便利品など

- ☐ 簡易トイレ
- ☐ ヘルメットか防災ずきん
- ☐ 懐中電灯 (予備電池を含む)
- ☐ 笛やブザー
(音を出して居場所を知らせるもの)
- ☐ 万能ナイフ
- ☐ スプーン・はし・カップ
- ☐ ラップ類
- ☐ 使い捨てカイロ



清潔・健康のためのもの

- ☐ 救急セット
- ☐ 常備薬・持病薬
- ☐ タオル
- ☐ トイレットペーパー・ティッシュペーパー
- ☐ 着替え (下着を含む)
- ☐ ウェットティッシュ・汗取りシート
- ☐ 予備の入れ歯・補聴器
- ☐ 歯みがきセット



その他

- ☐ 紙おむつ (幼児用・高齢者用など)
- ☐ 生理用品
- ☐ 粉ミルク・哺乳瓶
(赤ちゃんに必要なもの)
- ☐ ペットフード
- ☐ その他自分の生活に欠かせないもの



ご自身の環境に合わせて必要なものを準備してください。
支部作成「非常時の持ち出し品・備蓄品チェックリスト」参照

飲料水

1人1日 **3ℓ** × 家族人数分 × **7日分以上**

食料

1人1日 **3食** × 家族人数分 × **7日分以上**

携帯トイレ

1人1日 目安**5回** × 家族人数分 × **7日分以上**

(5) 降灰（小さな噴石を含む）可能性マップ



(5) 火山灰による被害 その1

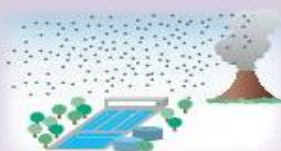
交通障害

- 火山灰が道路に降り積もることにより、スリップ事故を引き起こしたり、車が通行不能になったりします。
- 雨が降った場合は火山灰が固まり、5mm程度の降灰でも道路や鉄道の利用ができなくなるおそれがあります。
- 飛行場では条件がより厳しく、1mm程度の降灰により空港を閉鎖した事例が報告されています。



ライフラインへの影響

電柱(がいし)に火山灰が付着して停電を引き起こしたり、浄水場への降灰により水質を低下させるおそれがあります。



商工業への影響

商品に火山灰が積もったり、建物の内部に火山灰が侵入して精密機器が故障するおそれがあります。



農作物被害

- 露地栽培の作物に降り積もると商品価値を損ないます。
- 日照の減少などにより農作物が生育不良となります。
- 火山灰の重みでビニールハウスが損傷するおそれがあります。



建物被害

湿った火山灰が30cmも積もると、木造の家が倒壊するおそれがあります。



(5) 火山灰による被害 その2

降灰や風に流されて降る小さな噴石とその影響

火山噴火による降灰の被害については、建物倒壊・交通障害・ライフラインへの影響・農作物被害・健康被害など、多岐にわたって発生し、被害の程度は“分野ごと・降灰量ごと”に異なることが知られています。また、小さな噴石が風に流されて落下して、車の窓ガラスを割る被害なども報告されています。



風に流されて降る小さな噴石の落下

- ・強風時には10 km以上も流されます。
- ・車の窓ガラスを割ったり、人にあたればケガのおそれがあります。
- ・概ね1 cm以上のものから被害が生じます。



小さな噴石の落下で車の窓ガラスが破損



観測された小さな噴石(最大4cm)

健康被害

火山灰が目に入ったり、大量に吸い込んだりした場合、目・鼻・のど・気管支に異常が出たり、ぜんそくの症状が悪化するおそれがあります。



南日本新聞社提供

降灰による影響は、分野ごと・降灰量ごとにいろいろあるのね。



首都圏における広域降灰対策ガイドライン（概要）（令和7年3月）

降灰量に応じて、各分野で様々な被害が生じる。それら広域降灰時における被害の様相を、4つの「ステージ」に区分し、対策の考え方や留意点等を整理。

＜ステージに応じた被害の様相と広域降灰対策の基本的な考え方＞

防災対策検討のための区分 事項	ステージ4	ステージ3	ステージ2	ステージ1
被害の様相 降灰量等	降灰量30cm以上 降灰後土石流が想定される範囲	降灰量3～30cm 被害が比較的大きい	降灰量3～30cm 被害が比較的小さい	降灰量微量～3cm
建物倒壊	木造家屋倒壊の可能性（降雨時）	体育館等の大スパンの大型建物は損壊の可能性		－
輸送・移動、物資・ ライフライン供給	道路通行・物資供給困難 ライフライン影響大（長期化）		道路通行・物資供給困難*1 ライフライン影響小	鉄道・航空機等運行停止 物資供給支障
住民等の*2 基本的な行動	原則避難 噴火直後は、自宅や堅牢な建物に退避	自宅等で生活を継続 （状況に応じ生活可能な地域へ移動）	自宅等で生活を継続	自宅等で生活を継続
通院による人工透析や介護 サービスが必要な人等*3	原則避難	原則避難	自宅等で生活を継続 （状況に応じ医療の対応可能な地域へ移動）	自宅等で生活を継続
輸送・移動手段 及び物資供給	要救助者等がいる場合、 避難・救助を最優先 に確保	ライフライン復旧及び物資供給を 最優先 に確保	ライフライン復旧・維持を 最優先 に確保	除灰等の準備・ 影響ある分野は除灰開始
ライフライン分野の 対応	（域外に避難した地域は、 優先順位低）	障害が 長期化・影響が大 い状況から、 少しでも早い復旧 に取り組む	早期の復旧 に取り組み、復旧後は、 ライフラインを維持 する	影響は一部に留まるため、 復旧 及びライフラインの 維持 に取り組む

*1：一時的に供給困難となることもあるが、応急対応により生活継続が可能な状況。

*2：降灰中で視界が低下する等により屋外での行動が危険を伴う場合は、基本的に自宅等の屋内へとどまる。健康被害防止のため、屋外での行動時にはゴーグル及びマスクの着用等の対策が望ましい。呼吸器疾患等の持病等を持つ人は特に留意。

*3：降灰に伴う社会活動の低下等により自助・共助による生活が継続できず直ちに生命に危険が及ぶ人を想定（例：通院による人工透析患者や介護サービスが必要な人等）。要配慮者のうち、自宅等で生活を継続可能な人は、一般住民と同様の行動をとる。

屋内退避に備え平時から次の事項を検討

備蓄物品の充実強化

噴火発生後、1週間程度、当該施設内での生活が可能となるよう医薬品、食料品、飲料水等に加え、降灰時にはエアフィルターなどの空調関連物品の備蓄も必要となる。

非常用電源の確保

降灰の影響で停電が発生する可能性があるため、このような場合に備えて非常用電源を確保する必要がある。備蓄物品と同様に1週間程度、当該施設内における必要な機器類の電源をまかなえるようにすることが望ましい。

空調整備への備え

空調機器の室外機から火山灰が入り込むとフィルターの目詰まりや故障により、使用できなくなる可能性があるため、屋根や囲いを設置し、降灰の影響を軽減する措置を講ずる。

施設のスリム化を検討

緊急時の円滑な避難体制を構築するため、噴火警戒レベルが引き上げられた際の新規入院患者の受入停止、診療停止、関連施設への転院、家族への引き渡しの可否等について、平時から検討を行う。

避難に備えて

●避難する場合は、以下に注意しましょう

■忘れてませんか？

- 1 戸締り、電気、ガスの元栓を確認しましょう。
- 2 貴重品は忘れずに持参しましょう。
- 3 非常持ち出し品を確認しましょう。
- 4 外出中の家族のために、避難先を書いたメモを残しましょう。

■避難する場合は・・・

- 1 市役所や消防団などの指示に従い、落ちついて行動しましょう。
- 2 お年寄り、赤ちゃんのいる人、体の不自由な人、外国人などの避難を助けましょう。
- 3 小石が降ってくることがあるのでヘルメットなどで頭を守りましょう。
また灰を吸い込まないようにマスクやゴーグルをつけましょう。
- 4 くぼ地には有毒ガスがたまりやすいので、近づかないようにしましょう。

■避難場所では・・・

- 1 人数を確認し、逃げ遅れた人がいないか確認しましょう。
- 2 お互いに助け合いましょう。
- 3 ラジオやテレビ、同報無線などの情報に注意しましょう。



●噴火しそうな時、噴火が始まった時には

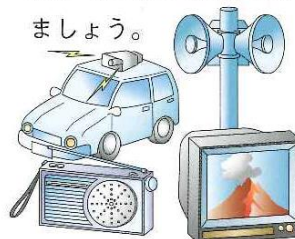
気象庁が発表する火山
情報に注意しましょう。



デマやうわさに惑わさ
れないようにしましょう。



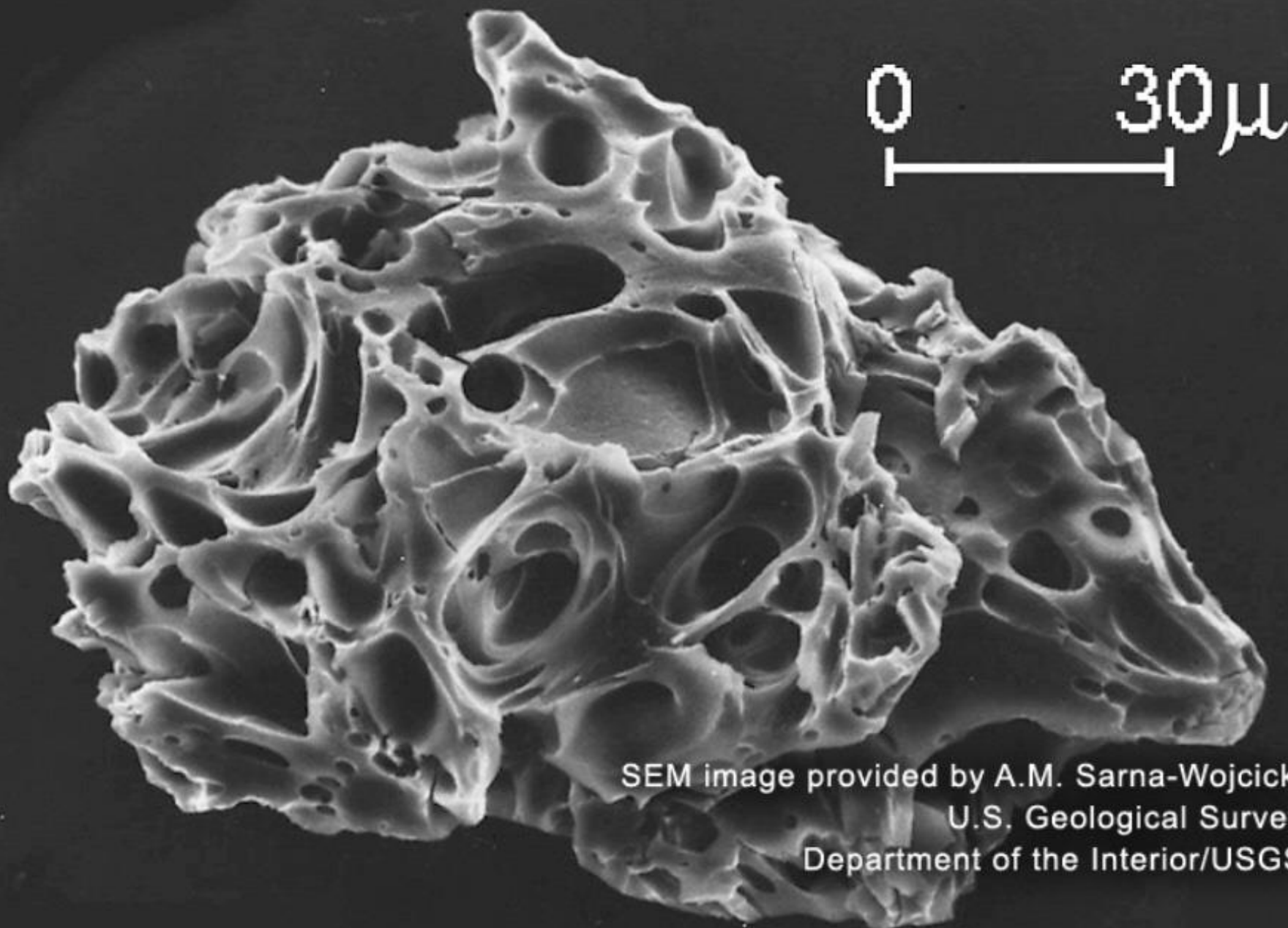
テレビやラジオのニュ
ース、市の無線などを
聞いて正しい情報を得
ましょう。



避難勧告などの指示が
あった場合には従いま
しょう。



火山灰の正体は、こんなやつ！！



SEM image provided by A.M. Sarna-Wojcicki
U.S. Geological Survey
Department of the Interior/USGS

避難する時は・・・

火山灰や噴石から、
身を守る。

熱が籠っている
噴石などから、守る。

上から降ってくる
火山灰から、身を守る。

噴煙で太陽が遮られると、昼
間でも真っ暗になるため、懐中
電灯も必要になる。

火山灰を吸い込まないよ
うに又、眼に入らないよ
うにする。

非常持出し品など

堆積した、火山灰により、
滑りやすくなっているので、
なるべく滑り止めのついている靴

噴火時に避難する時の服装



いずれも県富士山科学研究所まとめ

5 質疑応答